

第五十九回 帝國議會貴族院 地租法案特別委員會議事速記錄第十一號

昭和六年三月二十三日(月曜日)午前十時

二十九分開會

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 委員會ヲ開キ

マス

○男爵阪谷芳郎君 此田畠地價ノ修正デアリマスルガ、此田畠ト宅地ト大變違フヤウニ思ヒマスガ、今度ノ賃貸價格ニ依テ政府

ガ減稅セラレル場合ニハ田畠ノ方ノ地價ト宅地ノ方ノ地價モ通算シテ、サウシテ田畠ノ負擔ヲ輕クスル、斯ウ云フ案ダカラ宅地ノ方ガ聊カ迷惑ヲ蒙ルヤウニナリマスガ、

是ハ宅地ト云フモノト、田畠ト云フモノト全ク種類ノ違ツタモノデアリ、將來ニ於テ或ハ大都市ノ如キハ紐育ノヤウニ、毎年地價ヲ修正スルト云フヤウナコトニデモスルカ、或ハ又紐育デヤシテ居ルヤウニ地租單一稅ノ方法デ以テヤシテ行クト云フヤウニデモシナケレバナラヌ、大都市ノ發達ト宅地價ノ騰貴、又大都市ヲ支ヘテ行ク收入ヲ賦課スル公平ナル方法ト云フモノト、田畠ト云フモノトヲ始終一緒ニ引シ張テ行クト云フモノトヲ成程全局ノ上カラ見レバ都會

云フコトハ甚ダ理窟ガ惡イト思フ、今度其田畠ノ地價デモ、宅地ノ地價ハ宅地ノ地價ト、或ハ法律ヲ別ニセイデモ宜イカモ知レ

マセヌガ、元來ハ法律ヲ別ニシタ方ガ制度

上宜シキヲ得タモノデナイカ、サウシテ今度ノ改正ニ付テ、今政府ノ提案ヲ少シ御修

正ニナッテ、田畠ハ田畠ダケニ納リヲ付ケ、ソレカラ宅地ハ宅地ダケデ納リヲ付ケルト

云フヤウニナサル譯ニ行カヌノデアリマセウカ、ソレガ第一ト、ソレカラ第二ニハ先日モ段々委員ノ中カラ御質問ガアリマシテ、

東京デモ、名古屋デモ、其他ノ都市デモ大變ニ近來都市ノ地價ガ高クナッテ居ルカラ、増稅ノ形ニナル、政府ハ減稅ト稱シテ居ルノ

ニ増稅ヲヤッテハイカスト云フ御尤モナ論ガアリマスガ、併シ同ジ都市ノ中デモ例ヘ

バ小石川區邊リハ大分今度ハ地價モ殖エテ地ト田畠ト從來ハ御承知ノ如ク別ニナッテ、

ノダカラ、其區別ガ能ク分リマセヌガ、其邊ニ付テノ御説明ヲ願ヒタイ

○國務大臣(井上準之助君) 阪谷男爵ノ第一ノ御質問ニ對シテ御答へ致シマスガ、宅居リマスルガ、從來非常ニ同ジ都市ノ中デモ田畠デアッテ、ソレガ急ニ都市ノ區劃ニ編入サレタトカ云フヤウナコトデ、上タ部分ガ多イノカ、ソレトモ亦先日來質問ノアル

モ田畠デアッテ、ソレガ急ニ都市ノ區劃ニ編入テモ土地ヲ所有シテ居ルト云フ以上ハ、ソ

テ決メマシタ時ハ、苟モ如何ナル種目ニ依テモ土地ヲ所有シテ居ルト云フ以上ハ、ソ

テモ土地ヲ所有シテ居ルト云フ以上ハ、ソ

モノハ負擔ガ増スノデハナクシテ、近來道路ガ、所謂幹線道路ガ出來タトカ、或ハ電車ガ開ケタトカシテ、ソレガ爲ニ非常ナ地主

ガ僥倖ヲ得テ居ル、僥倖ヲ得テ居ルト云フ

ヤウナ部分ガ主ニ其地價ガ増シテ負擔ヲスルノデアレバ、チョット等シク全局カラ見レバ増稅デアルケレドモ、局部カラ考ヘレバ

必ズシモ增稅ト見ラレヌヤウニモ思フ、政

府ノ御調ベデハ唯十把一束ニナッテ居ルモ

ノダカラ、其區別ガ能ク分リマセヌガ、其

シテ同ジニシナケレバナラヌ、ソコデ茲ニ

モ稅率ト云フコトハ、今度ハ當然ノ結果ト

シテ同ジニシナケレバナラヌ、ソコデ茲ニ

モ出テ居リマスヤウニ、三・八ト云フコトニナ

リマシタノデアリマシテ、是マデノ過去ノ

宅地、田畠ト、別ニ取扱タト云フコト

ハ、モウ全然賃貸價格ヲ調査スル時カラ一

緒ニスルト云フ考デ出發イタシテ居ルノデ

ゴザイマス、サウ云フコトデアリマシテ、

唯此點ニ付テ考ヘナケレバナラヌコトハ、

田地ハ長イ年月ヲ經テモ左程變化セヌカ

ラ、或ハ市街宅地ノ方ハ短イ期間ニモ變ル

カモ知レヌト云フ事項ガ是ハゴザイマセ

ウ、併ナガラ今般從來ノ遣リ方ヲ變ヘテ、

十年每ニ賃貸價格ヲ調査イタシテ見マスレバ、サウスレバ市街ガ經濟上ノ變化ニ依テ、宅地ガ田畠ヨリカ變化ガ多イト推定イ

タシマシテモ、十箇年毎ニ賃貸價格ヲ調査

シテ見タナラバ、實際ニ適合スルコトハ、過去ノ歴史ヨリカ餘程實際ニ適合スルノデアラウト、斯ウ我ミハ考ヘテ居リマス次第デアリマス、ソレカラ第二ノ問題ハ私ガ一通り御答ヘ致シマシテ、政府委員ニ實例ニ付テ御説明サシタ方ガ宜シカラウト思ヒマス、只今小石川ノ例モゴザイマシタ、又日本橋アタリノ例モアリマシタデゴザイマスガ、我ミハ今度調ベタ結果ニ依リマスト、ニツノ結果ガ確ニ出テ居リマス、第一ハ東京市内デ是マデ年月ヲ經タ爲ニ、東京市内デモ非常ニ負擔ノ不公平ガアル、或場所ハ非常ニ賃貸價格ガ上ガッテ居リナガラ、稅ハ同ジ稅ヲ拂ッテ居ル、然ルニ先年ハ非常ニ繁昌シタ宜イ所デアッタガ、其方ハ割合ニ上ツテ居ナイノニ、矢張り以前ノ高イ稅ヲ拂ッテ居ルト云フ所モアリマス、ソレカラモウ一ツヲ申シマスト、市街ト田畠、所謂宅地ト田畠ノ間ニ非常ナ跋ガ出テ居ル、即チ國ノ進歩、經濟上ノ發達ニ依リマシテ、市街地ノ方ガ餘計影響ヲ受ケテ、市街地ノ方ガ賃貸價格ハ非常ニ増シテ、田地、田畠ノ方ガ賃貸價格ハ增加シテ居リマセヌト云フコトハ、今度ノ賃貸價格ノ調査ニ依リマシテハッキリ現ハレテ居ルノデアリマス、只今小石川ノ例ト日本橋ノ例ガ出來マシテカラ、大

體東京市内ノ事柄ニ付キマシテ、政府委員カラ材料ニ依リマシテ、説明イタサセルコトニ致シマス

○政府委員(青木得三君) 御答ヲ致シマ

ス、阪谷男爵ノ仰セニナリマシタヤウニ、今度ノ地租改正ノ結果地租ガ殖エマスル所ハ、例ニ御引キニナリマシタ新ニ幹線道路ガ出來テ、狀況ガ昔ト一變シタ云フヤウナ所ニ於テ著シク地租ガ殖エルノデゴザイ

マス、從テ日本橋區ノヤウナ昔カラ東京ノ中心トナッテ居リマシタ土地ニ付キマシテ

ハ、其地租ノ增加スル割合ガ誠ニ少イノデアリマシテ、例ヘバ日本橋區ニ於キマシテ

ハ、現在ノ地租ガ三十四万六千七百圓デゴ

ザイマス、此度改正ヲ致シマシテ九万六千

圓ダケ殖エルコトニナリマスノデ、其割合ハ二割七分八厘ト云フコトニナリマス、ソ

レデアリマスカラ日本橋ノヤウナ所ハ勿論

倍ニナルトカ三倍ニナルト云フヤウナコト

ハ毛頭ゴザイマセヌノデ、僅ニ二割七分八厘位ノ増加ニ止ツテ居ルノデアリマス、全ク仰セノヤウニ其狀況ガ急激ニ變化シタ所ニ

於テ地租ガ著シク增加イタシテ居リマス、

尙ホ附加ヘテ申上ゲテ置キタイト思ヒマス

マシタ時ニ、十八倍トシテ制限ヲ致シマシ

タコトハ、前度申上ゲテ居ルノデゴザイマスガ、其前ニ制限ヲ受ケタ土地ニ付キマシテハ、此前ニ於テモ當然増加スペキモノガカラ、今度取調べヲ致シマスト云フト、地租ガ著シク殖エルコトニ相成リマス、小石川區ノ如キモ其一つノ例デアルト存ジマスガ、前ニ取ルベキダケ取ツテ居リマセヌ爲ニ、今度著シク増加スルト云フコトニ相成リマスノデゴザイマスカラ、其點ヲ御参考マデニ附加ヘテ置キタイト思ヒマス

○男爵阪谷芳郎君 今大藏大臣ノ御説明ノハ、其地租ノ增加スル割合ガ誠ニ少イノデアリマシテ、例ヘバ日本橋區ニ於キマシテ

ハ、現在ノ地租ガ三十四万六千七百圓デゴ

ザイマス、此度改正ヲ致シマシテ九万六千

圓ダケ殖エルコトニナリマスノデ、其割合ハ二割七分八厘ト云フコトニナリマス、ソ

レデアリマスカラ日本橋ノヤウナ所ハ勿論

倍ニナルトカ三倍ニナルト云フヤウナコト

ハ毛頭ゴザイマセヌノデ、僅ニ二割七分八

厘位ノ増加ニ止ツテ居ルノデアリマス、全ク

仰セノヤウニ其狀況ガ急激ニ變化シタ所ニ

於テ地租ガ著シク增加イタシテ居リマス、

尙ホ附加ヘテ申上ゲテ置キタイト思ヒマス

マシタ時ニ、十八倍トシテ制限ヲ致シマシ

タコトハ、前度申上ゲテ居ルノデゴザイマスガ、其前ニ制限ヲ受ケタ土地ニ付キマシテハ、此前ニ於テモ當然増加スペキモノガカラ、今度取調べヲ致シマスト云フト、地租ガ著シク殖エルコトニ相成リマス、小石川區ノ如キモ其一つノ例デアルト存ジマスガ、前ニ取ルベキダケ取ツテ居リマセヌ爲ニ、今度著シク増加スルト云フコトニ相成リマスノデゴザイマスカラ、其點ヲ御参考マデニ附加ヘテ置キタイト思ヒマス

○男爵阪谷芳郎君 今大藏大臣ノ御説明ノハ、其地租ノ增加スル割合ガ誠ニ少イノデアリマスガ、此稅制ノ上ニ於キマシテハ、スガ、其前ニ制限ヲ受ケタ土地ニ付キマシテハ、此前ニ於テモ當然増加スペキモノガカラ、其前ニ制限ヲ受ケタ土地ニ付キマシテハ、此前ニ於テモ當然増加スペキモノガ

スガ、其前ニ制限ヲ受ケタ土地ニ付キマシテハ、此前ニ於テモ當然増加スペキモノガ

ノデアリマス、尙ホ陸海軍へ斧鉄ヲ加ヘナケレバ大シタナニハ出來ヌト思フノデスガ、行政部ノ方ハ陸海軍ヲ除イテハ節約モ出来マセウガ、又一方増シテ行カナケレバナラヌモノガ大分アルヤウニ考ヘルノデアリマス、陸海軍ノ如キモ、或ハモウ陸海軍當局者カラ言ヘバ一方ニ減セバソレヲ減シタダケ増サナケレバナラヌ、兵隊ノ數ヲ減セバ兵器ヲ改良シナケレバナラヌト云フヤウナコトガアリハシナイカト思ヒマスガ、兎ニ角今日マデ幾度カ政府ガ試ミタ行政財政ノ整理ノ上ニ於テ陸海軍ヲドウカスルト云フコトデナイト云フト非常ニ出所ガナイヤウニ思フノデスガ、其邊ハ政府ハドウ爲サルノデアルカ、又稅制ノ改正ト云フコトガ到底ニ將來大イニ陸海軍ナリ或ハ行政部ノ方ハ寧ロ増シテ行クベキ必要ガアルガ、而シテ一方ニ歲入ガ足リナイト云フ時ニハ何等カ將來財源ヲ考ヘル、是モ調査會ノ中ニ入レルノカ、今度ノ調査會ニハ財源ヲ増スト云フコトハ絶對ニ拔キニスルト云フノカ、其邊ノ御考ヲ伺ヒタイ

○國務大臣(井上準之助君) 稅制ノ整理ノ方ハ關稅ト内國稅、二ツトモ實ハ今日ノ經濟界ノ狀態カラ申シマスルト、只今ノ稅制ニ頗ル不適合ナ所ガアルト考ヘマスルノデ、ヤスト云フコトハ當然是ハ出テ來ルト考ヘ關稅ノ如キハ一遍スカラヒクリ返ヘシテ調査イタシテ見ヤウト思シテ居リマス、御承知ノ如ク現今ニ於キマシテモ隨分之ラドウトカ、アレヲドウトカ中ニ多數ノ品物ニ付テ關稅引上げ或ハ引下ゲノ請求ガアリマス、是ガ事態ヲ能ク調べテ見マスト、相當道理ノアル點モ澤山アリマス、又コチラ自分ガ之ヲ斯ウ變ヘタイト云々テ考ヘテ居ル點モアルノデアリマスノデ、其點モ考ヘテ居リマス、ソレカラ稅ヲ調査スル場合ニ所得稅等ノコトニ付テノ御尋デアリマスガ、何カ一ツ稅ノ根本ヲ變ヘテ見テヤラウト云フコトニ付テノ具體的ノ御答ヲルコトハ出來マセヌガ、只今舉ゲラレマシタ綜合課稅、源泉課稅ノ如キハ經濟界ガ非常ニ急激ニ變化イタシマシテ、昨年位カラ中ニ之ニ付テ色ニノ說モ伺ヒマス、又自分自身カラ考ヘテ見マシテモ、或ハ綜合課稅ヲ拵ヘタル場合ト非常ニ違テ居ルカラ、是モ相當ニ研究イタシテ見マシテ、ツ結論ヲ出シテ見ヤウト考ヘテ居ル次第ゴザイマス

○男爵阪谷芳郎君 サウ致シマスト今度ノ調査會ハ歲出ニ於テハ節約ヲ旨トシ、歲入ヲ増スト云フコトハ總テセナイ、所謂マア歲入ニ日本ノ財政ガ遭遇シタコトハナイノデアリマス、經濟界カラ申シマシテモ非常ナ一得稅等ノコトニ付テハ私ハ日本ノ現狀ヲ左ドモ、相當皆此時局ヲ一ツ了解致シマシテガアルカト云フ問題ハソコニ歸シマスケレモ、相當時皆此時局ヲ一ツ了解致シマシテ云フコトニ付テノ具體的ノ御答ヲルコトハ云フコトニ付テノ具體的ノ御答ヲルコトハ、一つ大イニ根本的ニヤッテ見ヤウト云フ決心ハ持テ居ル次第デアリマシテ、各種ノ問題ニ付キマシテ今日ノ經濟界ノ急激な變化、物價低落、生活費ノ低下シテ居ルト云點カラ出發シテ大イニ行政ノ整理ヲシテ見ヤウト考ヘテ居ル次第ゴザイマス

○國務大臣(井上準之助君) 私ハ阪谷男爵リ不都合ナ點モ見付ケマスノデ、大體申シマスト現在ノ稅ニ付テ一ツ研究整理ヲシテノ御説ノ通り從來ノ行政整理、此整理ト云フコトハ増スコトモアリ、減スコトモアリ、方針ヲ執ル所ノ調査會、積極的ニ、是マデ別ニ日本ノ將來ニ付テノ觀察ハ達ヒマセス、併ナガラ私ハ日本ノ過去ノ歴史カラ推

シテ行ッテ今日ノ状態ガ悲觀スペキ状態デ
ナイ、必ズ相當ノ變化ヲシテ行クグラウト
考ヘテ居ル者デアリマス、併シ財政ノ立テ
方ト致シマシテハ斯様ナ目前ニアルヤウナ
經濟界ノ時代ニ増税ヲ致シ、即チ如何ナル
意味ニ於テモ國民ノ負擔ヲ殖ヤスト云フコ
トハ不可能デアレバ仕方ガアリマセヌガ、
努力ヲ致シマシテ國民ノ負擔ヲ殖ヤスコト
ハ極力避ケタイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリ
マス、サウスレバ税ガ減レバ歲出ヲ減シテ
之ニ應ジテ行カウ、斯ウ考ヘテ大體ハ居リ
マスノデアリマスカラ、今日マデ其方針ニ
依ッテ進ンデ來テ居リマス、關稅ノ如キハ一
方ニハ殖ヤシ、一方ニハ減スコトモアリマ
ス、或モノノ如キハ私ハイツモ唯漫然トシ
テ保護獎勵ノ爲ニ關稅ヲ上ゲルコトハ絶對
ニイカヌ、併ナガラ主要産業デアッテ合理化
ケルト云フヤウナ問題ハ或ハ關稅ヲ引上げ
ナケレバナラ又商品モナイトハ限リマセ
ヌ、併シ大體申シマスト時勢ガ變レバ別デ
アリマスガ、今日ノヤウナ不況ニ赴イタ場
合ニ、出來ルナラバ國民負擔ヲ殖ヤスコト
ダケハ止メテ置キタイ、斯ウ實ハ考ヘテ、
其意味ニ於テノ税制ノ調査ハスル積リデア
リマス

ナ、必ズ相當ノ變化ヲシテ行クグラウト
考ヘテ居ル者デアリマス、併シ財政ノ立テ
方ト致シマシテハ斯様ナ目前ニアルヤウナ
經濟界ノ時代ニ増税ヲ致シ、即チ如何ナル
意味ニ於テモ國民ノ負擔ヲ殖ヤスト云フコ
トハ不可能デアレバ仕方ガアリマセヌガ、
努力ヲ致シマシテ國民ノ負擔ヲ殖ヤスコト
ハ極力避ケタイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリ
マス、サウスレバ税ガ減レバ歲出ヲ減シテ
之ニ應ジテ行カウ、斯ウ考ヘテ大體ハ居リ
マスノデアリマスカラ、今日マデ其方針ニ
依ッテ進ンデ來テ居リマス、關稅ノ如キハ一
方ニハ殖ヤシ、一方ニハ減スコトモアリマ
ス、或モノノ如キハ私ハイツモ唯漫然トシ
テ保護獎勵ノ爲ニ關稅ヲ上ゲルコトハ絶對
ニイカヌ、併ナガラ主要産業デアッテ合理化
ケルト云フヤウナ問題ハ或ハ關稅ヲ引上げ
ナケレバナラ又商品モナイトハ限リマセ
ヌ、併シ大體申シマスト時勢ガ變レバ別デ
アリマスガ、今日ノヤウナ不況ニ赴イタ場
合ニ、出來ルナラバ國民負擔ヲ殖ヤスコト
ダケハ止メテ置キタイ、斯ウ實ハ考ヘテ、
其意味ニ於テノ税制ノ調査ハスル積リデア
リマス

○男爵阪谷芳郎君 此調査會ハサウスルト
此效果ハ七年度ノ豫算ニ現ハスノデアリマ
スカ、時期モ餘程御急ギニナラナケレバナ
デモ、是非七年度ノ豫算ニ其效果ヲ現ハシ
タイト云フコトヲ考ヘテ居リマス

○國務大臣(井上準之助君) 先刻御話ノヤ
ウニ出來マスモノハ全部デハアリマセヌ
デモ、是ニ七年度ノ豫算ニ其效果ヲ現ハシ
タイト云フコトヲ考ヘテ居リマス

○男爵阪谷芳郎君 ソレカラ先達テ恩給ノ
コトト減俸ノコトガドナタカノ質問ニ出マ
シタガ、ソレニ付テ尙ホ確メテ置キタイガ、
恩給制度ヲ假リニ御改正ニナルト致シマシ
テモ、已ニ受ケテ居ル既得權又ハ已ニ或ハ
恩給ノ年限ニ掛カラムトシテ居ル所謂既得
權ヲ害スルコトモナイグラウト恩ヒマス
ガ、其邊ハ如何デアリマスカ、又減俸ノ御
話モ出マシタ、減俸ト云フコトモ先日ドナ
タカノ御尋ニナリマシタガ、年末賞與ガ多過
ギルカラソレヲ減スト云フヤウナ減俸ハ是
ハ何人モ論ノナイコトデアリマスガ、現ニ其
トマデ御ヤリニナルノデアリマスカ、英國
邊リノ減俸ノヤリ方ハ本人ガ轉任トカ昇給
スルマデハ矢張リ舊法ヲ適用スルコトニ
ナシテ居ルカラ減俸ナドガ大變行ハレ易イ、
スルマコトモ研究イタサナケレバナラヌ次第
デアリマシテ、如何ナル意味ニ於テ恩給ヲ

ニ非常ニ輿論ノ反対ガアッタノハ現在貰シテ
居ル俸給ヲ一割デモ二割デモ減ラサレル、
高等官ノ俸給ガ今マデ三千圓デアッタノヲ
デモ、是ニ七年度ノ豫算ニ其效果ヲ現ハシ
タイト云フコトヲ考ヘテ居リマス

○國務大臣(井上準之助君) 先刻御話ノヤ
ウニ出來マスモノハ全部デハアリマセヌ
デモ、是ニ七年度ノ豫算ニ其效果ヲ現ハシ
タイト云フコトヲ考ヘテ居リマス

○國務大臣(井上準之助君) 恩給ノ御尋デ
シタガ、ソレニ付テ専シテ置キタイガ、
恩給制度ヲ假リニ御改正ニナルト致シマシ
テモ、已ニ受ケテ居ル既得權又ハ已ニ或ハ
恩給ノ年限ニ掛カラムトシテ居ル所謂既得
權ヲ害スルコトモナイグラウト恩ヒマス
ガ、其邊ハ如何デアリマスカ、又減俸ノ御
話モ出マシタ、減俸ト云フコトモ先日ドナ
タカノ御尋ニナリマシタガ、年末賞與ガ多過
ギルカラソレヲ減スト云フヤウナ減俸ハ是
ハ何人モ論ノナイコトデアリマスガ、現ニ其
トマデ御ヤリニナルノデアリマスカ、英國
邊リノ減俸ノヤリ方ハ本人ガ轉任トカ昇給
スルマデハ矢張リ舊法ヲ適用スルコトニ
ナシテ居ルカラ減俸ナドガ大變行ハレ易イ、
スルマコトモ研究イタサナケレバナラヌ次第
デアリマシテ、如何ナル意味ニ於テ恩給ヲ

ニ非常ニ輿論ノ反対ガアッタノハ現在貰シテ
居ル俸給ヲ一割デモ二割デモ減ラサレル、
高等官ノ俸給ガ今マデ三千圓デアッタノヲ
デモ、是ニ七年度ノ豫算ニ其效果ヲ現ハシ
タイト云フコトヲ考ヘテ居リマス

○國務大臣(井上準之助君) 恩給ノ御尋デ
シタガ、ソレニ付テ専シテ置キタイガ、
恩給制度ヲ假リニ御改正ニナルト致シマシ
テモ、已ニ受ケテ居ル既得權又ハ已ニ或ハ
恩給ノ年限ニ掛カラムトシテ居ル所謂既得
權ヲ害スルコトモナイグラウト恩ヒマス
ガ、其邊ハ如何デアリマスカ、又減俸ノ御
話モ出マシタ、減俸ト云フコトモ先日ドナ
タカノ御尋ニナリマシタガ、年末賞與ガ多過
ギルカラソレヲ減スト云フヤウナ減俸ハ是
ハ何人モ論ノナイコトデアリマスガ、現ニ其
トマデ御ヤリニナルノデアリマスカ、英國
邊リノ減俸ノヤリ方ハ本人ガ轉任トカ昇給
スルマデハ矢張リ舊法ヲ適用スルコトニ
ナシテ居ルカラ減俸ナドガ大變行ハレ易イ、
スルマコトモ研究イタサナケレバナラヌ次第
デアリマシテ、如何ナル意味ニ於テ恩給ヲ

ニ非常ニ輿論ノ反対ガアッタノハ現在貰シテ
居ル俸給ヲ一割デモ二割デモ減ラサレル、
高等官ノ俸給ガ今マデ三千圓デアッタノヲ
デモ、是ニ七年度ノ豫算ニ其效果ヲ現ハシ
タイト云フコトヲ考ヘテ居リマス

○國務大臣(井上準之助君) 恩給ノ御尋デ
シタガ、ソレニ付テ専シテ置キタイガ、
恩給制度ヲ假リニ御改正ニナルト致シマシ
テモ、已ニ受ケテ居ル既得權又ハ已ニ或ハ
恩給ノ年限ニ掛カラムトシテ居ル所謂既得
權ヲ害スルコトモナイグラウト恩ヒマス
ガ、其邊ハ如何デアリマスカ、又減俸ノ御
話モ出マシタ、減俸ト云フコトモ先日ドナ
タカノ御尋ニナリマシタガ、年末賞與ガ多過
ギルカラソレヲ減スト云フヤウナ減俸ハ是
ハ何人モ論ノナイコトデアリマスガ、現ニ其
トマデ御ヤリニナルノデアリマスカ、英國
邊リノ減俸ノヤリ方ハ本人ガ轉任トカ昇給
スルマデハ矢張リ舊法ヲ適用スルコトニ
ナシテ居ルカラ減俸ナドガ大變行ハレ易イ、
スルマコトモ研究イタサナケレバナラヌ次第
デアリマシテ、如何ナル意味ニ於テ恩給ヲ

改正スルカハ、全ク確定イタシテ居ラヌノデアリマスケレドモ、サウ云フ點ニ付テハソレヘ研究ヲ致シマシテ最モ公平ニ改正ヲセヌケレバナラヌト考ヘテ居リマス、第二ノ減俸スルカ否カト云フ點ハ、先日來森田氏其他カラノ御尋ガアリマシタ時ニ、アシマリ微妙ナ問題デアリマスカラ深入リヲシテ御答ヲシ議論ヲスルコトヲ避ケテ居リマスガ、併ナガラ行政整理ヲスルトスウ云フコトヲ申シマス時代ニハ、過去ノ歴史カラ申シマシテモ何時デモ官吏ノ數ヲ減スト云フヤウナコトハ是マデアッテ居ルノデアリマス、行政組織ヲ改正シ所謂事務ノ簡捷ヲ圖ルナラバ、人ガ少ナクテモ濟ムト云フノハ當然ノ結果トナルノデアリマシテ、又過去ニ於テモ行政整理ノ度毎ニサウ云フコトガアリマス、隨テ減俸ガアルモノカ、或ハ官吏ノ數ガ減ルモノカ、其邊ノ所ニ付テハマダ確定イタシテ居リマセヌガ、併ナガラ行政整理ヲ苟モスルト云フ以上ハ、多少ノコトハサウ云フ結果ガ出テ來ルデアラウト考ヘテ居リマス、又世界各國ノ狀態ヲ見マシテモ、官吏ノ減俸ヲ最モ頻繁ニ行シテ今日マデ來テ居ルノハ獨逸デアリマス、獨逸ハ何度カ官吏ノ減俸ヲシテ歲入缺陷ヲ補テ居ルヤウナ事情モアルノデアリマスガ、

日本ノ財政状態ト獨逸伊太利等ト比較イタシテ見マシタナラバ、日本ノ財政ノ方ガマコトモセズニ濟ミハセヌカト考ヘテ居リマスガ、左様ナコトヲ今頭ノ中ニ描イテ居ル次第デアリマス

○森田福市君 チヨット關聯シテ……只今行政整理ノコトニ付テ御話ガアッタカラ一ロ私大藏大臣ニ御話シテ見タイト思フノデアリマス、ソレハ只今ノ御話中ニ行政整理ト云フモノハ官吏ノ人數ヲ減シテ整理シタ例ヲ幾ツモ持テ居ルトスウ仰シヤッタ、ソレハ最近ハ御承知ノ通り大正十四年デアリマシタカ行政整理ヲヤッテ大變官吏ヲ罷免シテ、サウシテ當時特別ナル手當ヲヤリ特別ノ増俸ヲ行ヒ、所謂刺任官ナラ五級ナラ五級デ普通罷メル時ハ四級ニスルト云フノヲ、五級カラ三級ニシ三級カラ一級ニシ、何カ一級若クハ二級ヲ飛バシテ、サウシテノ通リデアリマス、ソレダケノ事ヲシテ行政整理ヲ苟モスルト云フ以上ハ、多少ノコトハサウ云フ結果ガ出テ來ルデアラウト考ヘテ居リマス、又世界各國ノ狀態ヲ見マシテモ、官吏ノ減俸ヲシテ歲入缺陷ヲ補テ居ルヤウナ事情モアルノデアリマスガ、

ハレテ居ル通リダガ、今度カラ一つ行政整理モサウ云フ特別ナ……行政整理ヲスル場合ニハドウシタカ、アノ當時ノコトハ大藏省デモ能ク御承知デアラウガ、囑託ト云フ名稱ヲ附ケテ……一度ハ給料ヲ上ゲテ罷メサシテ、サウシテアノ公債ヲヤッテ、恩給モヤッテ、ソレカラ又其恩給ヲ引イテ前俸程度ノ給料デ囑託ト稱スル辭令ヲヤッテ、日々ノ事務ニ從事サシテ居ルノデアル、ソレハドル人ホド值打ガアルコトニナッテ、ヨウ取ランイ人ハ值打ガナイト云フコトノ評判ガ、課長、局長、或ハ大臣デモ、豫算ヲ取テ來ルナイ人ハ值打ガナイト云フコトノ評判ガ、省内廳内デ行ハレテ居ルノデアリマスガ、是ハ私ガ言ハヌデモ御承知デアリマス、サウ云フ風デアルカラ只今ノ行政整理ノヤリト云フヤウナコトニ、今聽イテ居ルト受取リマシタガ、ソレハ餘ホド御考慮ヲ願ヒタイ、前ノ通リニナッテハイケナイ、官吏トカラモウは以上言フノデアリマセヌガ、是ハモウ今日輿論デアル、致シ方ナインデアル、ガ私等ハ併シ又官吏ノ減俸ハセヌデモ、國

サウシテ人數ヲ減シテ、其減シタ人ヲ又再び囑託トシテ迎ヘテ、サウシテ恩給ヲ引イタ所ノ給料デ使フコトハ、結果ノ上ニ於テ國庫ハ何等利益ガナイ、若シ人數ヲ減スナラバ實際名實伴ウテ人ノ數ヲ減シ、サウシテ其人數ヲ成ベク増サナイヤウニ……國勢ノ發展發達スル關係上事務ノ殖エテ來ル漸進的ニナルノハ致シ方ナイト思ヒマス、ケレドモ左モナイ限り色ミナ名目ヲ設ケテ局課ヲ增設シタリ、人マデ殖ヤシ豫算ヲ取り、其豫算ヲ取ルトキニ、ソレハ地方デモ國デモ同じコトデアリマスガ、豫算ヲ取テ來ルナイ人ハ值打ガアルコトニナッテ、ヨウ取ランイ人ハ值打ガナイト云フコトノ評判ガ、課長、局長、或ハ大臣デモ、豫算ヲ取テ來ルナイ人ハ值打ガナイト云フコトノ評判ガ、省内廳内デ行ハレテ居ルノデアリマスガ、是ハ私ガ言ハヌデモ御承知デアリマス、サウ云フ風デアルカラ只今ノ行政整理ノヤリト云フヤウナコトニ、今聽イテ居ルト受取リマシタガ、ソレハ餘ホド御考慮ヲ願ヒタイ、前ノ通リニナッテハイケナイ、官吏トカラモウは以上言フノデアリマセヌガ、是ハモウ今日輿論デアル、致シ方ナインデアル、ガ私等ハ併シ又官吏ノ減俸ハセヌデモ、國

民ノ收入ヲ増シテヤッテサウシテ國費ノ負擔力、擔稅力ヲ國民ニ與ヘレバ、サウ別ニ減俸ハセヌデ宜シイ、一方整理ト云フコトハ減俸イタサナケレバ仕方ガアリマセヌガ、其半面ニハ整理ヲ行ハズニ、國民ノ收入ヲ増シテヤッテ、國民ノ收入ヲ増スコトニ依テ擔稅力ガ殖エテ來ルノデアリマス、所謂國稅ノ負擔者ガ殖エテ來ルノデアリマス、ソレデアレバ別ニ官吏ノ減俸ヲ行ハズニ出來ル、其出來ル方法ハソレガ一番宜シイノデアリマス、勿論國民ハソレヲ一番私ハ希望スルモノデアル、官吏モ其方ヲ希望セラレルダラウト思フ、消極的ニ整理ヲ御ヤリニナルヨリハ積極的方法ヲ御講ジガ願ヒタイ、是ハ希望デアリマス、併シ私ハ先キノ問題ハヂヤ、返スゞモ前ノ大正十三年ヨリ十四年ニカケテヤッタ行政整理ノ方法ヲ再ビヤッテ、公債ヲ出シテ、永久ノ國民ノ負擔ヲ其公債ノ利子ノ補給ニ歸シ、國民ノ負擔ヲ増シ、結果ニ於テハ其整理シタ人件費ヨリ以上モ増シテ居リマス、郡役所ヲ置クヨリモ廢止スレバ餘程利益ノヤウニ御話ニナツタガ、今日ハドウデアリマスカ、地方費ノ負擔ハ郡役所廢止デ節約ニナラナカシタトカ、是ハ言ハヌデモ節約ニナラナカシタト云フコトヲ、ドウシテモ此場合ニ参考ト云フコトヲ、ドウシテモ此場合ニ参考ト

デアルカラソコヲ餘程考慮シ、決心ヲ以テオヤリニナラヌト、負擔ガ却ツテ下手ナ整理ヲヤレバ増シテ來ル、私ハ、行政整理ヲヤッタ爲ニ國民ノ負擔ハ大變輕クナツタト云フコトヲアノ當時ノ内閣ハ宣傳ヲシテ居ラレマスガ、輕クナツタカ重クナツタカズ、相談シテ稅ガ輕クナツタカ重クナツタカズ、ト調べテ見タラ私ハ分ルダラウト思フ、今日非常ニ重クナツテ居ル、今ノ阪谷男爵ノ御質問ニ對シテ大藏大臣ノ言ハレルヤウニ、人ノ數ヲ減シタト言ハレルガ、一方ニ失業者ガ出レバ結局前ノ通リニナルノデアル、聊カ氣付イタカラ一言申上ゲテ置クノデアリマス

○大橋新太郎君 私ハ阪谷男爵ノ御質問ト同ジヤウナコトニ付テ質問シタイ、阪谷男爵カラ冒頭ニ此地租ガ宅地ト田畠ト性質ガ違フモノトシテ、別々ノ法律デ來ナケレバソレデ此度ノ地租改正案ハ市ト町ニ住ンデ居ル者ガ増稅ヲ受ケルシ、ソレカラ農村ニ住ンデ居ル者ハ減稅ヲ受ケル、斯ウ云フ政策デアリマスルガ、サウシマスト元來政友會

ノ人口ハ分ルケレドモ、町ト村ハ一ツニナツテ居ルカラ今答辯ハ出來ヌ、勘定ヲシテ見タラ分ル、今度ノ減稅ハ市ト町ニ重クシテ、ツ御研究ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、ソレデ此度ノ地租改正案ハ市ト町ニ住ンデ居ル者ガ増稅ヲ受ケルシ、ソレカラ農村ニ住ンデ居ル者ハ減稅ヲ受ケル、斯ウ云フ政策デアリマスルガ、サウシマスト元來政友會ハ地租委讓論ヲ唱ヘテ居ル、又民政黨ノ方デハ小學校教員ノ國庫負擔金ヲ増シテヤル

ト云フヤウナコトデ、兩々相對シタ雙方ノ政策デアリマスカラ、私共ハ此場合ドウシテモ教育費國庫負擔金ノ八千五百万圓ハ市

ト町ト村ニドウ云フ風ニ分配サレテ居ルカ

シテ知リタイノデス、澤山教育費負擔金ニ

ケル爲ニ、市竝町ニ住デ居ルモノノ增稅ヲ加ヘル、斯ウ云フコトニ付テハ我ミハ自分モ、私ノ言フ市ト町ト村ハ幾ラデアルカト云ヘバ、内務省モ大藏省モ之ニ御答辯ガ出来ル方ガ一人モナインデアリマス、文部省ヘ行ツテ調べテ見タラ分ルダラウト云フヤウナマア挨拶、ソレカラ又人口ヲ市ト町ト…市ニ幾ラ、町ニ幾ラ、村ニ幾ラ、斯ウ云フ質問ヲシテモ折角統計局ガ出來テ、國勢調査ナンカモ出來テ居ルケレドモ、市ノ人口ハ分ルケレドモ、町ト村ハ一ツニナツテ居ルカラ今答辯ハ出來ヌ、勘定ヲシテ見タラ分ル、今度ノ減稅ハ市ト町ニ重クシテ、農村ニ負擔ヲ輕クスルト云フノダカラ、少クトモ簡單ニ是等ノ數字ヲ御示シニナルノガ當然デアルノニ、大藏省トシテノ、斯ウ云フ風ノ稅制ヲスル時ニ、我ミガ質問シナイデモ、其邊ノ國庫負擔金ノ八千五百万圓ト云フモノハドウ云フ風ニ農村ニ及ンデ居ルカ、又人口關係ガドウ云フ風ニナツテ居ルカト云フコトハ我ミガ言ハヌデモ政府ハサウ云フ邊ヲ御示シニナツテ居ラシヤラナケレバナラヌカト思フノデアリマス、何レ此二ツノ調べハ近ク御調べ下サツテ後ニ御報告願ハウト思ヒマスルガ、ソレデ念ノ爲ニ、大藏大臣ニ念ヲ押シテ置キマスノデス

ガ、現在ノ地租ハ田畠ハ百分ノ四・五、市街宅地ハ百分ノ二・五デアルガ、其ニ五ナルモノハ歐羅巴大戰ノ時ニ百分ノ二十二増率シタモノヲ地價ヲ修正シテ、地價ノ金額ヲ上げテ、サウシテ宅地ソレ自身ノ間ニハ安クナッタリ、高クナッタモノモアルカモ知レヌガ、百分ノ二十ト云フ負擔金額ハ減ラサナイ範圍ニ於テ、百分ノ一・五トナサッタモノト拜承シテ宜シイカ、是ハ主稅局長ノ御答辯デ宜シイ

○國務大臣(井上準之助君) 私カラ大橋サシニ御答ヘ致シマスガ、今大橋サンノ御言葉ニ農村ヲ助ケル爲ニ農村ノ負擔ヲ輕クシテ、市町村ノ負擔ヲ重クスル、即チ農村ノ負擔ヲ輕クシテヤル爲ニ市町村ノ負擔ヲ重クシタト云フヤウナ意味ガアリマシタケレドモ、ソレハ根本ノ貨貸價格ノ調査ノ意味ガ、今大橋サンノ言ハレルヤウニハ全クナイノデアリマシテ、今日農村ノ負擔ガ重イカラソレヲ輕クシテヤラウ、其財源ヲ市ヤ町カラ取ラウ、斯ウ云フ意味デ毛頭來テ居ルノデヤナインデアリマス、即チ例ヘテ見レバ、茲ニ茶碗茲ニ風呂敷ガアリマシテ、之ヲニツ持テ居ルガ、何方カラ一體收穫ガ餘計取レルカ、即チ收入ガ餘計取レルカト云フコトヲ判断イタシマシテ、即チ之ガ宅

地デアレバ宅地ヲ持テ居ル方ガ偶然ニ餘計賃貸價格ガ取レルコトニナッタノデアリ

マス、ソコデ此茶碗ヲ持テ居ル人ヨリカ賃貸價格ガ餘計取レルカラシテ、賃貸價格ガ餘計ナラ、餘計稅ヲ拂フノガ本當デヤナイカ、斯ウ云フ事カラ來テ居ルノデアリマシテ、其結果ガアナタノ言ハレル如ク、市ヤ町ガ必ズシモ負擔ガ殖エタ譯デヤナイノデアッテ、同ジ市ノ中デモ今政府委員カラ申シハ殖エル率ガ違テ居テ、最近ニ所謂市ニマシタ如ク、從來地價ノ高イ日本橋ノ如キ編入サレテ、サウシテ郊外ヤ何カノ者ガ非常ニ負擔ガ殖エテ居ル、是ハ御認メニナル

ダラウト思ヒマス、郊外ガ非常ニ最近ニ地價モ上リ、地代モ上ッテ非常ニ繁昌シテ居ル、假ニ東京デ申シマスト新宿ノ如キデアリマス、ソレト日本橋ト新宿ト斯ウ云フモノヲ

兩方ヲ調査シテ公平ヲ保ッタ云フ斯ウ云ス、ソレト日本橋ト新宿ト斯ウ云フモノヲ

例ニ取テ見マシタナラバ、從來ノ地價ニ依ル地租デ割出サレテハ、日本橋ト新宿ノ間ニ非常ニ負擔ノ不公平ガアルト云フコトヲ

御認メニナルダラウ、ソレナラソレヲ公正ニスルト云ヘバ、日本橋ノ貨貸價格ガ一坪

ノ方ガ貨貸價格ガ殖エテ居ル、過去何十年

ニスルト云ヘバ、日本橋ノ貨貸價格ガ一坪併ナガラ根本ハドウカト云ヘバ此市街宅地

ノ方ガ貨貸價格ガ殖エテ居ル、過去何十年ニシマスカ否ヤト云フ質問デアリマス

○政府委員(青木得三君) 私モ其積リデ申上ゲテ居リマス、ソレハ其通リデアリマス、

唯一言附加ヘテ置キマスノハ郡村宅地ト市街宅地ト一方ハ百分ノ二十、一方ハ八デシタ

此地租ヲ殖シテモ郡村宅地ト市街宅地ト合セマシテ二分五厘トスレバ從來ト同ジ收入

ヲ取ル、斯ウ云フコトニ相成テ居リマス、

アリマス、調べテ見タ結果ガ宅地ノ方ガ高クナッタト、斯ウ云フコトハ過去ノ四十三年

カラ今後ニ於テ宅地ノ方ガ經濟上ノ變化ニ依ツテ値段ガ上ッテ、貨貸價格ガ非常ニ上ッ

テ居ルンダト云フコトニナシテ居ル、今一つ大橋サンノ言ハレル言葉ヲ農村ノ側カラ云

ヘバ、農村ノ貨貸價格ガ割合ニ上ラナイノ

ニ、從來何十年カ前ニ決メタ地價ニ依ツテ割合ノ地租ヲ拂ッテ居ルンダ、斯ウ決メマスト

マシタ明治四十三年ノ宅地價修正ノ際ニ稅常ニ負擔ガ殖エテ居ル、是ハ御認メニナル

ダラウト思ヒマス、郊外ガ非常ニ最近ニ地價上ッテ居ルノニ、我ミト割合ガ大變違フ、斯ウ云フコトニナルカラ其處ガ即チ地租條例

濟上ノ變化デ市街宅地ノ方ガズット割合ガ上ッテ居ルノニ、我ミト割合ガ大變違フ、斯ウ云フコトニナルカラ其處ガ即チ地租條例ヲ改正スル必要ガ生ジテ來タ所以デアリマ

ダラウト思ヒマス、郊外ガ非常ニ最近ニ地價モ上リ、地代モ上ッテ非常ニ繁昌シテ居ル、假ニ東京デ申シマスト新宿ノ如キデアリマス、ソレト日本橋ト新宿ト斯ウ云フモノヲ

兩方ヲ調査シテ公平ヲ保ッタ云フ斯ウ云ス、ソレト日本橋ト新宿ト斯ウ云フモノヲ

例ニ取テ見マシタナラバ、從來ノ地價ニ依ル地租デ割出サレテハ、日本橋ト新宿ノ間ニ非常ニ負擔ノ不公平ガアルト云フコトヲ

御認メニナルダラウ、ソレナラソレヲ公正ニスル爲ニ、市街宅地ノ稅ヲ高クシタ、斯ウ

云フコトヲ、ソレハ結果ハサウデアリマス、併ナガラ根本ハドウカト云ヘバ此市街宅地

ノ方ガ貨貸價格ガ殖エテ居ル、過去何十年ニシマスカ否ヤト云フ質問デアリマス

○政府委員(青木得三君) 私モ其積リデ申上ゲテ居リマス、ソレハ其通リデアリマス、

唯一言附加ヘテ置キマスノハ郡村宅地ト市街宅地ト一方ハ百分ノ二十、一方ハ八デシタ

此地租ヲ殖シテモ郡村宅地ト市街宅地ト合セマシテ二分五厘トスレバ從來ト同ジ收入

ヲ取ル、斯ウ云フコトニ相成テ居リマス、

尙亦附加ヘテ置キマスガ、今回ノ改正ハ現
在ノ税率ガ二分五厘アルカラ、幾ラニス
ルトカ、四分五厘ニスルトカ、是ハ何等捉
ハレテ居ラヌノデアリマス

○大橋新太郎君 井上大藏大臣ハ此度ノ宅
地價ヲ修正スルノハ農村ヲ助ケルトカ、今
ノ市竝ニ町ノモノヲ苦メルトカ云フ意味ハ
毛頭ナイノデ、永イ年月ノ間、宅地價ナリ
或ハ田畠ナリノ價格ガ經濟界ノ變動ガア
リ、ソレヲ公平ニ負擔サセル目的デアルト
云フコトハモウ是ハ御説明ガナクテモ百モ
承知シテ居リマス、百モ承知シテ居リマス
ガ、結果ハ私ガ申シマスヤウニ市竝ニ町ノ
者ガ増税ヲ受ケテ、農村ニ住ンデ居ル者ガ
非常ナ減税ヲ受ケルト云フ結果ニナルノデ
アリマス、其結果ヲ顧ミナイ政治ナント云
フモノハ私ハ活キタ政治デヤナイヤウナ氣
ガスル、確カニ町竝ニ市ニ住ンデ居ル者ハ
非常ニ増税ニナリ、ソレカラ農村ニ住ンデ
居ル者ノミハ此不景氣ノ際ニ恩典ヲ受ケル
農村ハ恩典ヲ受ケルガ、市竝ニ町ハ少シモ
ソレヲ羨ミモシナイ、其爲ニ市竝ニ町ノ者
ガ重稅ヲ受ケヌナラヌケレバ是ハ
ミヲ持ツコトガ御分リニナラヌケレバ是ハ
意見ノ相違デアリマスカラ、是ハ別ニ御説
明ニ及ビマセヌ、只今私ガ質問シマシタ現

在ノ宅地價、地租法ニ依ル百分ノ二・五、宅
地其モノノ間ニハ四十三年ノ地價修正ノ結
果上リ下リガアル、其總額ニハ百分ノ二
十二當ル金額ヲ宅地ガ背負テ居リマス、明
治十七年ニ御決メニナッタ地租條例ノ當初
ハ宅地モ田畠モ百分ノ一・五、二分五厘ノ稅
デアッタ、ソレハ田畠ハ昨日申上ゲマシタ
通リニ百分ノ三ニ上リ、百分ノ四・五ニ上リ、
百分ノ五・五ニ上タテ三回稅ガ上タノガ、其
後百分ノ四・七ニ下ゲ現在ノ四・五ニ下タ
ノデアリマス、然ルニ宅地ノ方ハ百分ノ五
ニ上ゲ、百分ノ八ニ上ゲ、百分ノ二十二ニ上
ゲ、三回上ゲテ百分ノ二十二ニ上ゲタ、總額
ヲ宅地價ダケノ間ノ均衡ヲ保ツ爲ニ修正

シタノハ、金額ハ百分ノ二十ノ金額ヲ宅地
ガ今日春負テ居ルノデアリマス、サウスル
ト明治十七年ノ際ニ御決メニナッタ地價條
例ニ依ツテ今日田畠ノ持ツテ居ル人ハ明治十
七年ニ二十五圓ノ稅ヲ納メタ者ハ今日四十
五圓ノ稅ヲ納メテ居ル、即チ八割上タコト
ニナル、宅地稅ノ總額ニ於テハ明治十七年
ノ地租條例御制定ノ時ニ同ジク矢張リ二十
五圓ノモノガ今日ハ二百圓負擔シテ八倍ニ
ナツテ居ルト云フコトハ大藏大臣ハ御認メ
ニナリマスカラ、爰、八割ノ宅地租ノ

モノハ八倍負擔シテ居ルト云フコトハ御認
シ大橋サンノ言ハレマシタ通リデアリマス、但
ハ私只今持合セゴザイマセヌガ、大體ハ大
橋サンノ言ハレマシタ通リデアリマス、但
ノハ捨テシマフ、サウシテ獨立的ニ此モ
以テ幾ラノ儲ケガアル、斯ウ云フコトヲ見
マシテ、總デヲ日本全國同ジ目デ見タノデ
アリマスカラ、過去ニ於テドウデアルトカ
云フコトハ、少シモ今度ノ貨貸價格調査ノ
結果ガ生ジテ來タモノニハ入ツテ居ラヌノ
シタノハ、金額ハ百分ノ二十ノ金額ヲ宅地
ガ今日春負テ居ルノデアリマス、サウスル
ト十五圓ヲ納メタ人ハ四十五圓ニナッテ居ル、
現在ノ地租ヲ納メテ居ルモノハ總額ニ於テ
二十五圓ノモノガ二百圓ニナッテ居ルト解
釋シテ差支ナイ、サウ云フ數字ニナリマス
ガ、ソレヲ御認メニナリマスカ否ヤヲ伺フ
ノデアリマス

○政府委員(青木得三君)

御答致シマスガ
先程モ私申上ゲマシタヤウニ百分ノ二十
云フ税率ハ市街宅地ノ税率デアリマス、ソ
レガ其時ハ郡村宅地ガ百分ノ八デアッタ、此

市街宅地ノ税率ト…郡村宅地ノ税率ト、
若クハ市街宅地ノ稅トヲ一緒ニ致シマシ
テ、サウシテ同ジ收入ヲ得ル爲ニハ百分ノ
二・五ガ宜シトイ云フノデ百分ノ一・五ニ致シ
マシタカラ、市街宅地ト郡村宅地ト突込ン
デ居リマスカラ、一方ハ百分ノ八ト、一方
ハ百分ノ二十デアリマスカラ、其二十ダケ
ヲ御取リニナルト云フコトハ計算上ハ頗ル
妥當ヲ缺イテ居ルヤウデアリマス
○大橋新太郎君 ソレナラバドウカ現在ノ
地租法ガ十七年ト今日トドウ云フ宅地ノ明
細ナル御調べガアルナラバ改メテ午後デ宜
シウゴザイマスカラ御報告ヲ願ヒマス、大
藏大臣ニ伺ヒマスガ、此度地租ノ改正ヲ根
本カラ御改メニナルト云フ大改革ヲ御ヤリ
ナサル場合ニ、地租ヲ課稅シマス標準ハ土
地ノ面積ニ依ル譯デアリマス、田畠ナラバ
一反歩幾ラ、宅地ナラバ一坪幾ラト云フ土
地ノ面積ニ對シテ課稅ナサルノニ、日本ノ
今ノ現在ノ土地臺帳ニ於ケル所ノ土地面積
田畠竝ニ宅地、是ハ明治ノ初年ニ、日本ガ
マダ測量術ノ極ク發達シナイ幼稚ノ時代デ
アル、推定的ナ奥行何間間口何間ト云フヤ
ウナ大難把ナ測量ニ依ツテ今日ノ土地臺帳
ノ面積ヲ取ツテ居ルノデアリマス、デアリマ
スカラ何處ノ所ヲ決メマシテモ東京ノ町ノ

地面ハ土地臺帳ニ載テ居ル土地面積ト實測シタ面積ハ皆ナ違テ居ル、唯土地ノ種類ガ變リマシテ、耕地整理ニナリ、東京ナラバ區割整理ニナリ地目ノ變更ノ場合ニ於テハ測量シテ改正シマスガ、元來ノ全體ノ土地面積ガ田畠ニ宅地其他デモ、總チ明治十七年ノ幼稚ナ時代ノ測量ニ依テ決メラレタモノデアル、實際ノ面積トハ違テ居ルモノト私ハ思惟スルノデアリマス、然ルニ却テ新領土ノ臺灣ハ是ハ全部新式ノ測量術ニ依テ地圖ガ出來マシタガ、朝鮮ノ如キモ併合後餘リ年月ガ經チマセヌガ、朝鮮モチヤント全測量ガ出來テ、サウシテ正確ノ土地ノ面積ガ出來テ居ル、現ニ私ハ朝鮮ノ農事經營ノ會社ノ社長ヲシテ居ルガ、土地ヲ一万二千町歩モ持テ居ルガ、先年測量ノ結果ハ一躍シテ一千何百町歩唯殖エマシタガ、是ハ測量ノ結果殖エタノデアル、サウ云フ譯デアルノニ土地ノ面積ヲ標準トシテ稅ヲ課スル地租法ヲ此度實貨價格ニ改メルトカ云フヤウナ根本的ノ事ヲ爲サル時ニ、新領土ノ臺灣若クハ合併シタ朝鮮スラ其測量ヲシテアッテ、日本内地ノ此本土ハマダ其測量ガナイ、朝鮮ハ先年行テ見マスト實ニ立派ナ土地ノ地圖ガ出來テ居リマス、尤モ斯カル主客顛倒ノコトハ單ニ此土地ノ

測量バカリヂヤナインデアリマス、馬關カラ渡テ釜山ニ上陸シマスレバ、却テアッチ止場ト云ヒ、馬關ヨリハ遙ニ宜イ、野蠻國ニ野蠻國ト言テハイカヌケレドモ、開ケ又處カラ開ケタ處へ行々タ感ジガスル、更ニ大連ニ行テ見マシテモ、大連ノ港灣竝ニ鐵道ノ設備ハ、東京横濱ナンカカラ見マスレバ、ソレコソ文明國ト非文明國トノ差ガアッテ、大連ナンカ實ニ立派ナモノガ出來テ居ル、斯ノ如キ主客顛倒シタ政治ガ行ハレテ居ル只今ノ世ノ中デアリマスカラ、臺灣竝ニ朝鮮ノ土地ノ測量ガ進ンデ、内地ノ本土地ガ今以テ測量ガナクテ、稅ヲ課稅スルニモ土地臺帳ガ實際ト違テ居ルモノヲ標準トシテ、コニニ徵稅令書ヲ發スルト云フコトハ、果シテ今日文明國……世界ノ三大國トカ言テ居ル文明國ノ適當ナ行爲デアルヤウデス……何カ其時ノコトヲ政府委員カラ……

○國務大臣(井上準之助君) 御答ヲ致シマス、此地租改正ノ事業ガ行惱ンデ居リマシタツノ理由ハ、今ノ大橋サンノ仰セニナリマス日本全國ニ亘テ全部ノ測量ヲ新シクスレバ、中ミ其千万圓ヤ二千万圓ノ金デ測量ヲ致シマシタラ必ズ違フグラウト思テ居リマス、併ナガラ此土地實貨價格ノ調査ヲスル時ニモ其議論ガ出マシタサウデスガ、其時ノ詳細ノコトハ承知イタシマセヌガ、是ハ中ミ大事業デ容易ニ出來ルモノデナイ、斯ウ云フ事カラシテ今ノ土地ト云フモノモ左ホド大シタ差ガアッテ不公平ト云フコトハ餘リ認メラレナイカラ、マア後年ニ延バシタラ宜カラウト云フ位ノ議論ニ大連ニ行テ見マシテモ、大連ノ港灣竝ニ鐵道ノ設備ハ、東京横濱ナンカカラ見マスノヤウデアリマス、是ハ何時カハ必ズヤラナケレバナラヌ問題デアラウトハ考ヘテ居リマス、併ナガラ土地ノ實貨價格ヲ決メマス場合ニ、從來ノ此段別坪數ニ依テ實貨價格ヲ決メマシテモ、左ホド一方ニ非常ナ利益デ一方ニ非常ナ不利益ト云フコトハ見テ居リマセヌ、ガ又今ノ如キ實際ニ適合シナイ所ガアリマシテ、大部分ハ殖エル方デアルヤウデス……何カ其時ノコトヲ政府委員カラ……

○大権新太郎君 其内地ノ土地ヲ測量スレバ金ガカ、ルカラ延バシテアルト仰シヤルケレドモ、臺灣ナ朝鮮ヲヤッテ内地ヲ等閑ニ附シタト云フコトハ、何モ現内閣ノ責任デヤナイケレドモ、歷代ノ政治家トシテ餘りニヒドイ、ソレガ田畠ノ測量ノミニアラズ、先キニ申スヤウニ釜山ガ却テ馬關ヨリ宜ク、東京横濱ヨリモ大連ガ宜イ、更ニ我ニハ實ニ……此處ニ海軍大臣ヲ置イテ申上ゲルノモ如何カト思ヒマスガ、海陸軍ノ軍人諸君ノ御熟誠御奮闘ノ結果ニ依テ朝鮮ナリ又臺灣ナリモ日本ノ新領土ニナッタ、其朝鮮合併以來幾ラ日本カラ朝鮮ニ注ギ込ンデアリマスカ、私ノ聞ク所ニ依レバモウ何十億ハ日本カラ朝鮮ノアレニ注ギ込ンデア

ル、朝鮮ニコッヂカラ金ヲ持テ行ッテ朝鮮ノ測量ヲシテ、内地ノ測量ハ其儘ニシテ置ク、ソレデ昔ハ人ノ領土ヲ取レバアッヂカラ貢ギ物ヲ取ッタガ、今度ハ取タ國、亡國ノ方ヘコッヂカラ金ヲ持テ行ッテヤラナケレバナラヌト云フコトハ、海陸軍ノ御奮闘ノ結果ニ依ルコトハ甚ダ多トスルケレドモ、國民トシテハ却テ負擔ヲ受ケルト云フ結果ニナツテ居ルコトハ、甚ダ此場合海軍大臣ニ申上ゲルノハ恐入リマスケレドモ、事實ハサウナツテ居ルト云フコトヲ申上ゲザルヲ得ナイ、而カモ日本内地ハ失業者ガ多クテ困ル、其失業者ノ人間ハ、合併シタ朝鮮ノ労働者ガ日本へ來テ居ル其労働者ノ數ト、ソレカラ日本ノ失業者ノ數ガ同ジデアル、朝鮮ヲ亡ボシタノハ宜イケレドモ、朝鮮カラ……合併ノ結果朝鮮カラ労働者ガ這入ツテ日本人ハ失業シナケレバナラヌ、又其朝鮮ノ平和ヲ維持スル爲ニ日本人ガ兵隊ニナツテ日本ノ費用デ朝鮮へ行ッテ朝鮮ノ平和ヲ維持スル、ソレノミナラズ自然政治ノ費用モ増シ、其費用ヲ持ツ、亡國ノ民ノ爲ニ勝ッタ戦捷國カラ貢ギ物ヲ捧ゲル結果ニナルト云

置キタイト思フ、先年亡クナリマシタ乃木大將ハ其オカクレニナツタニ三日前ニ、品川ノ傍ヲ當時ノ東京府知事サント一緒ニ汽車ニ乗ッテ居テ、知事サン、アノ品川ノ埋立ノ土地ハ一坪幾ラズ出來、マスカト云フコトヲ聽イタ、東京府知事ハ、アレハ東京市ガヤツテ居リマスカラ能ク存ジマセヌケレドモ、多分一坪十圓位デ出來ル、ト云フ話ヲ知事サンガ乃木大將ニ御話シタ、所ガサウシマスカネ、一坪十圓デ海ガ陸ニナルトハ安イモノデアリマスナア、人ノ國ヲ取りマスノハ非常ニ高イモノニ附キマスナア、ト仰シヤッタ、是ハ乃木サンガオカクレニナツタカラ、之ヲ正確ナルモノト致シマシテ、夕前々日デスカノ實話ダト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、戰捷ノ結果、其取ッタ朝鮮ノ爲ニ、取ッタ臺灣ノ爲ニ、母國ハ重稅ニ苦シニテ居ラナケレバナラヌ、土地ノ測量モ出シタカラ、之ヲ正確ナルモノト致シマシテ、郡村ノ宅地ハ町ハ九十五万圓上ガル、農村ハ五百五十万九千圓減ルト云フ御調ベヲ戴キマス、市町村ノ附加稅ニ於キマシテ田地ノ分ヲ合セマスト、三千八十四万四千二百三ツヲ合セマスト、三千八十四万四千二百三万二千五百六十八圓、其他ニコ、ニ稅第六度デ千二十六万五百六十四圓減リマス、此度ノ此宅地ノ所ノ郡部ト云フ所ノ内譯ヲ、號ノ此宅地ノ所ノ郡部ト云フ所ノ内譯ヲ、先日大藏省ノ方ノ人ニ問ヒマスト、是ハ郡部ノ宅地ハ町ハ九十五万圓上ガル、農村ハ五百五十万九千圓減ルト云フ御調ベヲ戴キマス、市町村ノ附加稅ニ於キマシテ田地ノ分ヲ合セマスト、三千八十四万四千二百三万二千五百六十八圓、其他ニコ、ニ稅第六度デ千二十六万五百六十四圓減リマス、此度ノ此宅地ノ所ノ郡部ト云フ所ノ内譯ヲ、號ノ此宅地ノ所ノ郡部ト云フ所ノ内譯ヲ、

改正前ト改正後デハ、平年度ニ於テ國稅方置キタイト思フ、先年亡クナリマシタ乃木大將ハ其オカクレニナツタニ三日前ニ、品川ノ傍ヲ當時ノ東京府知事サント一緒ニ汽車ニ乗ッテ居テ、知事サン、アノ品川ノ埋立ノ土地ハ一坪幾ラズ出來、マスカト云フコトヲ聽イタ、東京府知事ハ、アレハ東京市ガヤツテ居リマスカラ能ク存ジマセヌケレドモ、多分一坪十圓位デ出來ル、ト云フ話ヲ知事サンガ乃木大將ニ御話シタ、所ガサウシマスカネ、一坪十圓デ海ガ陸ニナルトハ安イモノデアリマスナア、人ノ國ヲ取りマスノハ非常ニ高イモノニ附キマスナア、ト仰シヤッタ、是ハ乃木サンガオカクレニナツタカラ、之ヲ正確ナルモノト致シマシテ、郡村ノ宅地ハ町ハ九十五万圓上ガル、農村ハ五百五十万九千圓減ルト云フ御調ベヲ戴キマス、市町村ノ附加稅ニ於キマシテ田地ノ分ヲ合セマスト、三千八十四万四千二百三万二千五百六十八圓、其他ニコ、ニ稅第六度デ千二十六万五百六十四圓減リマス、此度ノ此宅地ノ所ノ郡部ト云フ所ノ内譯ヲ、號ノ此宅地ノ所ノ郡部ト云フ所ノ内譯ヲ、先日大藏省ノ方ノ人ニ問ヒマスト、是ハ郡部ノ宅地ハ町ハ九十五万圓上ガル、農村ハ五百五十万九千圓減ルト云フ御調ベヲ戴キマス、市町村ノ附加稅ニ於キマシテ田地ノ分ヲ合セマスト、三千八十四万四千二百三万二千五百六十八圓、其他ニコ、ニ稅第六度デ千二十六万五百六十四圓減リマス、此度ノ此宅地ノ所ノ郡部ト云フ所ノ内譯ヲ、號ノ此宅地ノ所ノ郡部ト云フ所ノ内譯ヲ、

改正前ト改正後デハ、平年度ニ於テ國稅方置キタイト思フ、先年亡クナリマシタ乃木大將ハ其オカクレニナツタニ三日前ニ、品川ノ傍ヲ當時ノ東京府知事サント一緒ニ汽車ニ乗ッテ居テ、知事サン、アノ品川ノ埋立ノ土地ハ一坪幾ラズ出來、マスカト云フコトヲ聽イタ、東京府知事ハ、アレハ東京市ガヤツテ居リマスカラ能ク存ジマセヌケレドモ、多分一坪十圓位デ出來ル、ト云フ話ヲ知事サンガ乃木大將ニ御話シタ、所ガサウシマスカネ、一坪十圓デ海ガ陸ニナルトハ安イモノデアリマスナア、人ノ國ヲ取りマスノハ非常ニ高イモノニ附キマスナア、ト仰シヤッタ、是ハ乃木サンガオカクレニナツタカラ、之ヲ正確ナルモノト致シマシテ、郡村ノ宅地ハ町ハ九十五万圓上ガル、農村ハ五百五十万九千圓減ルト云フ御調ベヲ戴キマス、市町村ノ附加稅ニ於キマシテ田地ノ分ヲ合セマスト、三千八十四万四千二百三万二千五百六十八圓、其他ニコ、ニ稅第六度デ千二十六万五百六十四圓減リマス、此度ノ此宅地ノ所ノ郡部ト云フ所ノ内譯ヲ、號ノ此宅地ノ所ノ郡部ト云フ所ノ内譯ヲ、先日大藏省ノ方ノ人ニ問ヒマスト、是ハ郡部ノ宅地ハ町ハ九十五万圓上ガル、農村ハ五百五十万九千圓減ルト云フ御調ベヲ戴キマス、市町村ノ附加稅ニ於キマシテ田地ノ分ヲ合セマスト、三千八十四万四千二百三万二千五百六十八圓、其他ニコ、ニ稅第六度デ千二十六万五百六十四圓減リマス、此度ノ此宅地ノ所ノ郡部ト云フ所ノ内譯ヲ、號ノ此宅地ノ所ノ郡部ト云フ所ノ内譯ヲ、

ラ言フナラバ市街地ハ市街地、農村ハ農村デ全ク別ナ法律ニスルガ宜イヂヤナイカ、最モ財政ニ精通ノ阪谷男爵カラサウ云フ御公平々々ト唯餘リニ名ヲ公平ニ藉リ、公平ニ拘泥シテ却テ一方ニ恨ミヲ買シテ、民政黨ハ一體……マダ此外ニ農村ニ對スルコトヲ申上ダマスレバ、チヨット一例ヲ舉ゲテ見マスレバ、昭和六年ノ豫算ニ於キマシテ、商工省ト農林省トノ間ニドノ位ノ懸隔ガアルカト云フコトヲ申上ダマスト、農林省ノ費用ノ中ノ産業獎勵費ハ一千四百八十七万圓、農村振興費ガ三百八十六万七千圓、治水費ナドガ百四十一万圓、其他ノ森林業等ニ一千六百十三万五十七圓ト云フモノガ農林省ノ方ニアル、而シテ商工省ノ産業獎勵費ハ三百五十六万圓、貿易振興費ガ百六十五万圓、其他合理局其他ノ費用デ六百万八千四十六圓ト云フヤウナ數字デアリマシテ、片一方ハ二千餘万圓、片一方ハ六百万圓、而モ農村ニ於キマシテ其田ニ出來マス所ノ米ハ米穀法ト云フモノデ、サッキ阪谷男爵ガ仰シヤツタヤウニ、今マデニ農村デ作ル米ガ安イカラソレヲ買上ゲテヤルト云フヤウナコトノ爲ニ、一億五千万圓モ要シテ居ル、此一億五千万圓ト云フモノハ國ガ損ヲシテシ

マッテ居ル、サウシテ又今後幾ラ損ヲスルカ分ラヌト云フヤウナ狀態デアル、今日國民ニ拘泥シテ却テ一方ニ恨ミヲ買シテ、民政黨ハ一體……マダ此外ニ農村ニ對スルコトヲ申上ダマスレバ、チヨット一例ヲ舉ゲテ見マスレバ、昭和六年ノ豫算ニ於キマシテ、商工省ト農林省トノ間ニドノ位ノ懸隔ガアルカト云フコトヲ申上ダマスト、農林省ノ費用ノ中ノ産業獎勵費ハ一千四百八十七万圓、農村振興費ガ三百八十六万七千圓、治水費ナドガ百四十一万圓、其他ノ森林業等ニ一千六百十三万五十七圓ト云フモノガ農林省ノ方ニアル、而シテ商工省ノ産業獎勵費ハ三百五十六万圓、貿易振興費ガ百六十五万圓、其他合理局其他ノ費用デ六百万八千四十六圓ト云フヤウナ數字デアリマシテ、片一方ハ二千餘万圓、片一方ハ六百万圓、而モ農村ニ於キマシテ其田ニ出來マス所ノ米ハ米穀法ト云フモノデ、サッキ阪谷男爵ガ仰シヤツタヤウニ、今マデニ農村デ作ル米ガ安イカラソレヲ買上ゲテヤルト云フヤウナコトノ爲ニ、一億五千万圓モ要シテ居ル、此一億五千万圓ト云フモノハ國ガ損ヲシテシ

ガ……是ハ皆政治ノ結果デアリマス、而モ農村ノ方ガ必ズ多イト思フ、無論人口ハ農村ハ多イ、而モ民政黨ノ決行シタ普通選舉法ニ於テハ稅ヲ納メヤウガ納メマイガ權利ハ同等デアルノデアリマス、然ルニ一方稅ヲ納メラレヌマデニ重稅ニ苦シミ泣イテ居ルト云フ今日ニ於テ、果シテ斯ウ云フ御計畫ヲナサルト云フコトガ公平ナル政治デアルカドウカ、又此計數ガ間違フテ居ナイカドウカト云フコトニ付キマシテ、能ク御調べノ上デ午後ニ伺ヒマス

○國務大臣(井上準之助君) チヨット大橋サンニ申上ダテ置キマスガ、前ニ内務大臣及内務省ノ政府委員ガ申シマシタ如ク、地租ノ附加稅ハ市街地ニ於テ殖エマス、併ナガラ一方ニハ所得稅附加稅、營業收益稅ノ附加稅ヲソレト相當ニ減ス、市街地ニ於テノ附加稅ヲ今日殖ヤスト云フ必要ヲ認メテ居ナイカラ、同額ヲ減スト云フコトヲ御答へ致シテ居リマス爲ニ、七年後ニ於キマシテモ地租ノ附加稅ハ殖エマスケレドモ、先づ同額附加稅ハ他ノ稅目ニ於テ減ルト、斯ウ御承知ヲ下サシテ宜シトイ思ヒマス、ソレシテ居リマスガ、是ハ日本ハ今日モ矢張リ皆其方

亦八分二厘三毛上^{タツ}居ル、斯ウ云フ統計ノ
數字ヲ御覽ニナリマシテ、是ハ私方調ベタ
ノデハナクシテ大藏省デヤタモノニアリ
マスガ、ソレニモサウ云フ結果ガ出テ居リ
田畠ヲ安クシテ宅地ヲ上ダルト云フ頭ハ何
處カラ出テ來タノニアリマスカ、是ハ能ク
御考ヘノ上ニ午後ニ是モ一ツ御答辯ヲ願ヒ
タイ、ソレカラモウ一ツ伺ヒタイノデス、
此度御決メニナッタ所ノ賃貸價格ヲ以テ、今
マデハ借地人ト地主トノ間ガ賃貸價格ガマ
ダ決マッテ居ナイカラ、漠然タル地價デ決
マッテ居^タカラ、争ヒガ深刻ニナラナカッ
タ、今度ハ宅地ナラバ借地人ガ地主ニ納メ
ル地代ヲ標準トシテ公租其他ヲ計算シテ御
決メニナル、此度此法律ガ通過スル以上、
土地臺帳ニ載^タ所ノ賃貸價格ヲ……稅ヲ
取ラレル賃貸價格ヲ標準トシテ、地主ハ借
地人ニ借地料ヲ請求シ得ルヤ否ヤ、ソレカ
ラ田畠ノ所有者タル地主ハ小作人ニ對シ公
租其他ノモノヲ計算シテ逆ニソレヲ小作料
トシテ取ルコトガ出來ルヤ否ヤ、其爲ニ非
常ナル地主ト借地人トノ間ニ紛争ハ生ジマ
セヌカ、之モ矢張リ御考慮ノ上ニ私ハ御返
事ヲ願ヒタイト思ヒマス、此度ノ減稅ハ總
額一箇年ニ僅カ九百万圓、而モ海軍大臣ガ

倫敦條約ト云フモノヲ御是認ニナッタ結果
出テ來タノニアリマス、今年ハ九百万圓、來年
ハ二千五百万圓ノ減稅デアルガ、今年ノ九
百万圓位ハ此不景氣ノ時代ナレバ稅ノ一項
ニナル、酒ノ稅ノ如キ大藏省デモ減收ノ見
積リヲシテ居ラレルガ、今年ノ暮ニナッテ見
レバ、此不景氣ノ爲ニ酒ノ稅一本ダケデモ
九百万圓、千万圓位ノ稅ハ減リハシナサイカ
ト思フ、ソンナ危ナ^{カシ}イ、タッタ九百万
圓ノ減稅財源ヲ持^タテ來テ、サウシテ在ヤ町
ニ住ンデ居ル者ニ一箇年三千万圓以上ノ增
稅ニナルヤウナ、稅案ヲ御出シニナル、餘
リニ勇氣アル大藏大臣ノ御計畫デハナイカ
ト思フ、我ミハ減稅ハ實ニ熱誠ニ希望スル
所デアル、縱令小ナリトモ農民ナリ其他ノ
所ニ減稅ヲ御サセニナルト云フコトハ少
シモソレヲ苦情ヲ言フ譯デハアリマセヌ、
ケレドモ、タッタ九百万圓ノ財源ノ爲ニ我ミ
ガ斯ク減稅委員トシテ熱誠ニ、毎日寄^タテ而
ハ考ヘテ居ルト云フコトヲ前提トシテ我ミ
マデノ田畠ヨリモ市街宅地ヲ有^タテ居ル方
ハ地價ニ對シテ地租ヲ納メル割合ヨリハ、
賃貸價格ガ殖エテ居ルノニアリマス、サウ
云フコトヲ考ヘマスト今大橋サンノ言ハレ
ラドウカ冷靜ニ御考ヘノ上、サウ云フコト
ノ爲ニ紛証ヲ生ジテモ宜イト云フ御考デア
リマスカ、サウ云フ方面ヲ篤ト御考慮ヲ願

ヒタイ
○國務大臣(井上準之助君) 前ニ數字ヲ取
消シテ置キマスガ、三千万圓増稅ニナラレ
ルト云フコトハ先刻申シマシタ如ク、地租
ノ附加稅ガ殖エレバ所得稅、營業收益稅ノ
制限外ニナッテ居ルモノハ段々減シテ行^タテ、
總額ニ於テ附加稅ハ殖ヤサヌ、斯ウ申シテ
居リマスカラ、其意味ニ於テ我ミハ今大橋
サンノ云ハレタ七年以後ニ三千万圓増稅ニ
ナルト云フ、斯ウ云フコトハ御認メシ兼不
ルノニアリマス、ソレカラ只今出サレタ賃
貸價格ガ上^タタ、其爲ニ地代ヲ殖ヤスコトガ
出來ルカ、殖ヤスコトガ出來ナケレバ地主
ガソレダケ損ヲスルデヤナイカ、又地代ヲ
増額スレバソコニ紛争ヲ起スデヤナイカ、
斯ウ云フ御話デアリマス、其事柄ハ大體申
シマスト、經濟上ノ變化ニ依^タテ市街ニ御所
有ニナッテ居ル地所ノ値段ガ上リ、賃貸價格
ガス^タレバソコニ^タテ居ルコトデ大變分り易ク
モ、チヨット此次ノ會……、午後ニデモアレ
數ノ掛カルモノデハナイカラ一ツ御迷惑デ
シタラ一枚^タテ出来ルコトデ大變分り易ク
ナッテ宜シウゴザイマスカラ……

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 休憩イタシマ
ス、午後ハ一時半ヨリ開キマス
午前十一時五十六分休憩
午後一時四十五分開會
○委員長(伯爵柳澤保惠君) 委員會ヲ開キ
マス、井上男爵
○男爵井上清純君 私ハ二十日ニ濱口總理
大臣ガ御答辯ナサイマシタ事柄ニ付キマシ
テ再び海軍大臣ニ御尋ねシナケレバナラヌ
コトガ出テ參^タタノニアリマス、デ此問題ハ
屢々私ハ同ジヤウナコトヲ繰返シテ又元ニ

戻テ來ルヤウナコトニ立至ラタノデアリマスガ、即チ第二次補充計畫ノコトデアリマス、總理大臣ト致シタナラバドウ云フ御答兼ネテ居リマスルケレドモ、併ナガラ如何ニモ御答辯ハ私共ガ理解ガ出來ナイヤウナ點ガ多々アルノデアリマス、全體第二次補充計畫ト云フモノハ政府ハ有ツテ居ラヌト云フコトヲ明確ニ二度モ聲明セラレテ居ルノデアリマス、其計畫ト云フモノハ内容ガアリ年慶ガ決マラ又限りハ計畫ト云フコトハ出來ナイノダ、他ノ閣員ガ何ト言ハウトモ自分ハ明ニ具體的ニナツテ居ラナイモノニ向ツテハ計畫ト云フコトハ出來ナイ、ソレ故ニ第二次計畫ハ政府ハ有ツテ居ラヌト云フコトヲ明確ニ仰セラレタノデアリマス、傍デ海軍大臣ハ御聽キニナツテ居ラレタノデアリマスルカラ十分ニ其間ノ事情等モ能ク御分リニナツテ居ル筈デアリマスルガ、一條公爵ノ問ニ對サレマシテ、即チ海軍ノ第二次補充計畫ト云フコトヲ能ク政府ハ申サレマスガ、政府ニ於テ現ニ第二次補充計畫ト云フコトヲ有ツテ居ルノデアリマス、ソレハフ事柄ニ對シマシテ、有ツテ居ラヌト云フコトヲ仰セニナツテ居ルノデアリマス、ソレハ第二次補充計畫ト云フコトハ海軍ノ方デサ

ウ云フコトヲ言フモノガアルカ知レナイケレドモ、決定シテ居ラナインデアルカラ補充計畫ナシト言フノデアルト、然ラバ斯ウナケレバ、第二次計畫ハナイト云フコトヲ言ヘルノデアリマスルカ、頗ルオカシイトイ思フノデアリマス、國防ニハ計畫ガナケレバナラヌノデアリマス、既定ノ國防方針ニ基ク作戰計畫ト云フモノハ一體何ヲ指スノデアリマスカ、其處ニ實體ガアルノデハナイノデアリマス、無論其處ニ實體ガアルノデハナカラウト思フノデアリマス、能ク海軍大臣ガ御使ヒニナル所ノ既定ノ國防方針ニ基ク作戰計畫ヲ遂行維持スル上ニ於テ、今度ノ倫敦條約ノ兵力量ハ兵力ニ於テ不足ガアルト云フコトヲ仰セニナッテ居ルノデアリマスガ、然ラバ此計畫ト云フモノハ具體的ニ現ハレタ計畫ヲサレテ居ルモノデナイコトハ當然ノコトデアリマス、併ナガラ計畫ハ持シテ居ルノデアリマス、政府ハ持シテ居ルノデアリマス、之ヲ如何ニシテ實現レドモ、計畫ハ持シテ居ルノデアリマス、其補充計畫ナシト現ハレタノガ今度ノ補充計畫デナケレバナラヌノデアリマス、其補充計畫ハ不斷ノ代換補充トカ言フヤウナ意味

合ト違フノデアリマシテ、是ハ幾度モ申上
ゲタコトデアリマスルケレドモ、今度ノ倫
敦條約ニ於テ兵力量ニ缺陷ヲ生ジタノデアリ
モノガ必要ニナツテ來タ、其補充計畫全部ヲ
御使ヒニナルナラバ辛ウジテ其缺陷ヲ補充
スルコトガ出來ル、緩和スルコトガ出來ル
ト云フコトデアルノデアリマス、然ルニ全
部ヲ御使ヒニナラズニ半分残シテ居ル、其半
分ノ補充計畫ハドウスルノカ、斯ウ云フ質
問ニ對シテ、濱口總理大臣ハソンナ計畫ハ
持ツテ居ラヌト云フ御答デアルノデアリマ
ス、甚ダドウモ趣意ガ明デナイト思フノデ
アリマス、不斷ナラバ將來ノ代換計畫ト云
フモノハ、或ハ嚴格ニ言フテ見レバ現實ニ較
ニ現ハレテ居ヌト斯ウ仰セニナルカモ知ヒ
ナイノデアリマスケレドモ、既ニ國防ノ計
畫ガアリ、或ハ其計畫ノ一面ノ補充計畫ガ
立ツテ、他面ノ補充計畫ガ残ツテ居ルノデア
ル、其殘サレタ計畫ヲ何故ニ實行サレナイ
ノデアルカト云フ、實行ノ問題デアル、既
ニ實行ノ問題ニ這入ッテ居ルノニ其計畫ス
ラモナイ、斯ウ云フ御答デアッタノデアリマ
ス、計畫ニ影スラモナイト云フヤウナ御答
デアッタノデアリマス、一體サウ云フ御答ニ
對シテ海軍大臣ハドウ云フヤウナ御感想ヲ

持ッテ居ラレルノデアリマスカ、私ハ不思議ニ感ジタノデアリマスルカラ、其程度ニ止メテ置イタノデアリマスガ、海軍大臣ハ果シテ濱口總理大臣ノ此答辯ニ對シテ如何様ニ御考ヘニナツテ居ルノデアリマセウカ、承リタイノデアリマス

○國務大臣(男爵安保清種君) 只今ノ井上男爵ノ御質問ニ御答へ致シマスルガ、私モ土曜日ニ濱口總理ガ來テ此處デ答辯ヲサレマシタコトハ能ク承知ヲ致シテ居ルノデアリマス、大體ニ於キマシテ濱口首相ノ答ヘラレタコトニ付テ只今段々ト御尋ガアリマシタガ、所謂第二次計畫、是ハママ第2次計畫ト云フ名前ヲ付ケテモ付ケナクテモ、兎ニ角次ニ來ルベキ計畫ト云フモノヲ持ッテ居ラヌト云フコトヲ二度モ言明サレタノデアリマス、ソレハ其通り言明サレタノデアリマスガ、ソレハ矢張リソニ政府ト致シマシテハ具體的ノ計畫ト云フモノヲ持タスト云フ意味ヲ言現ハサレタノデアッテ、濱口首相モ此處デ述ベラレタノデアリマスガ、苟モ政府トシテ計畫ヲ持ッテ居ルノデ、或ル補充計畫ヲ持ッテ居ルト云フコトデアリマスレバ、ドウシテモソレハ其計畫ノ中

ニ含マレテ居ル所ノ艦種、艦型、又其隻數、ソレヲ又何年カラ何年ニ亘^{アリ}テ造ル、同時ニ又ソレノ經費ノ關係ト云フヤウナコトガ略、具體的ニ成立^ステ居ルモノデナケレバ、政府トシテハ第二次ノ海軍ノ計畫ガアル、政府トシテハ第二次ノ海軍ノ計畫ガアルノダト云フコトヲ言明スルコトガ出來ナイノハ、是ハ當然ノコト考ヘルノデアリマス、恐ラク濱口首相ノ言ハレタノモ其點デアリマス、是ハ私モ種々ノ機會ニ於テ所謂第二次計畫ト云フヤウナモノヲ昭和十一年度以前ニ於テヤルト云フコトノ必要ハ認メテ居リマスルケレドモ、其必要ニ付テ之ヲ具體的ニ一ツノ計畫ト致シマスルニハ、此倫敦條約ノ示ス所ノ其權利ヲドウ云フ程度ニ行使スルカト云フコトニ依ル次第デ、其行使スル度合ハ矢張リ外國ノ狀況等ヲ見ナケレバナラヌト云フ意味ヲ含ムノデアリマスルカラ、ソコデ何年カラ著手スルト云フコト、又其內容ト云フモノハ諸般ノ狀況ニ依ルノデアルカラ、ソレハ未ダ具體的ニ海軍トシテモ決マッテ居ラヌノダト云フコトヲ申シテ居リマスルシ、其點ト首相ノ述ベラレタ所トハ少シモ違^ハテ居ラヌト私ハ考ヘテ居リマス、ソレカラ井上男爵ノ只今御述べニナリマシク作戰計畫ト云フモノガ其所ニア

ル、即チ其所ニ艦ヲ造ル計畫ト云フモノモ、自カラ決マンテ居ルノデハナイカ、斯ウ云フヤウナ意味ノ御話デアリマシタケレドモ、兵力ヲ運用スル上ニ立テマシタツノ計畫デアッテ、補充計畫ト云フモノトハ、其計畫ト云フ名前ハ同ジデアリマスルケレドモ、是ハモウ御承知ノ通り全然性質ノ違タモノデアル、國家ガ或ル兵力ヲ必要トスルコトニ付テ何年度カラ何年度ニ亘テ或ル是レダケノモノヲ必要トスル、ソレニ經費ヲ取ル、ソコニ伴ハレテ是ガ海軍補充計畫ト云フ意味ニナリマスル次第デ、是ハ申上ゲマスマデモナク海軍ト致シマシテハ苟モ國家トシテ海軍ノ軍備ヲ具ヘル以上、補充計畫ト云フモノハ何年カラ期シテ必ズナケレバナラヌモノデアルノデ、從テ今御話ニナリマシタ第二期計畫ト云フモノモ當然ナケレバナラヌコトハ明カデアリマスケレドモ、ソレヲ立テマスルニ付テハ今ノヤウニマダ諸般ノ狀況ヲ考慮シテ立テナケレバナラヌノデアリマスカラ、今日ニ於テハ政府マシテ、從テ其點ヲ濱口首相モ述ベラレマシテモ其計畫ヲ有ツテ居ラナイノダ、斯ウ云フコトヲ申上ゲルヨリ外ナイノデアリラヌノデアリマスカラ、今日ニ於テハ政府

シタ次第デ、是ガ私竝ニ首相代理、大藏大臣等が茲デ色ミ述べテ居ル、此貴族院、衆議院ニ於テ述ベラレマシタ所ノ趣意ト何等違フテ居ラナイト考ヘテ居リマスル次第アリマス

モ尙且ツ全キモノヲ得ルコトガ出來ナイ、併ナガラ他ニ財源ガナイノデアルカラ先ヅ全部ノ財源ヲ使ッテ、サウシテ辛ウジテ條約ノ結ブコトニ付テハ同意ヲ表サナケレバナラヌト云フヤウナ立場ニ海軍ガ置カレタコトハ、誠ニ海軍トシテハ不幸ナルコトト申サナケレバナラヌノデアリマス、其全部ノ補充財源四億八百万圓デモ尙ホ足リナインデ、第一次第二次計畫ヲ用ヒマスト尙ホ足リナインデ、ソヨニ五千六百万ト云フ足ガ出テ參ッテ居ルノデアリマス、此足ノコトニ付テモ濱口サンハ少シ間違ヘラレテ居タヤウデアリマスガ、今速記録ガ出來マシタカラ之ヲ見マスルト、少シク考ガ達ッテ居ルヤウニ見エルノデアリマス、此際ニ於テ之ヲ訂正シテ置クコトガ必要デアラウト思ヒマス、第一次補充計畫ハ三億七千四百万圓ノ外ニ他ノ財源カラ五千万圓ト云フ足ガ出テ居ルノデアリマス、又別種ノ財源カラ職工ノ手當ニ要スル所ノ六百万圓ト云フヤウナ公債モ、實ハ當然倫敦條約カラ生ミ出サレル所ノ結果ト看做サナケレバナラヌノデアリマス、合計四億一千四百万圓デアリマスノ費用ト云フモノハ、四億二千四百万圓ニ

モ上ボッテ居ルノデアリマス、ソレニ加ヘル
ノニ第二次計畫ノ一億三千四百万圓ヲ以テ
シタナラバ、補充財源デアル所ノ四億八百
万圓ト云フヤウナ多額ノ費用ヲ掛ケテ、辛
ウジテ此倫敦條約カラ來タ所ノ國防ノ缺陷
ヲ補ヘルト云フヤウナ實情デアッタコトヲ
拔キニサレテ、單ナル補充計畫デアルト云
フヤウナコトノ御答ヲ得ルコトハ、到底問
題ノ要諦ヲ擱ミ得ルコトガ出來ナイノデア
リマス、サウ云フヤウナ白バクレタヤウナ
御答辯デアッタナラバ、何回此質問應答ヲ續
ケテ居テモ、ツイ要諦ヲ得ルコトガ出來
兼ネルト思フノデアリマス、其五億八百万
圓ニ加ヘル五千六百万圓、サウ云フ多額ノ
費用ヲ掛ケナケレバ補フコトガ出來ナイ、
ソレハ掛ケマスト云フ濱口總理大臣ノ一札
ヲ海軍ニ入レテアルデアリマセヌカ、ソ
レハ明確ナルコトデアリマス、今其殘サレ
タル所ノ一億三千四百万圓ト云フモノヲ他
ニ譲ラレテシマッテ、サウシテ第一次計畫ガ
必要デアル、又希望ヲ持テ居ルト云フコト
ヲ言ハレテ居リナガラ、其財源ヲ他ニヤッ
テ御シマヒニナッテ、果シテ是ガ實現出來ル
ト思召シニナルカ、頗ル不可解ナルコトデ
アリマス、餘リ財界ノコトハ我ハ關スルコ
トデハナイト云フナラバ國務大臣ヲ置ク必

臣デアリマス、財界ノコトヲ能ク承知サレ
テ自分ノ國防ニ於テモ缺陷ガナイヤウニサ
レテ、初メテ海軍大臣タルノ職責ヲ全ウス
ルモノデアラウト信ズルノデアリマス、今ハ
眞ノコトヲ申サナケレバ此問題ハ埠ガ明カ
ヌグラウト思ハレマスガ、海軍デハ軍參議
官アタリハ非常ニ心配サレテ居ル、安保海
軍大臣ハ能ク御承知ノ筈デアル、第二次國
防計畫ヲ以テシタナラバ國防ノ安固ヲ期シ
得ラレナイカラ、寢ネテモ覺メテモ此問題
ガ心配ニナッテ寢レヌト云フ狀態デアリマ
ス、サウ云フ海軍ノ首腦ガ心配サレテ居ル
コトヲ其儘ニサレテ海軍大臣タルベキ者ガ
唯政府ノ御都合ヲ考ヘラレテ、第二次補充
計畫ヲ丸デ雲烟過眼視サレルト云フコトハ
私ハ實ニ不可解千萬ナコト言ハナケレバ
ナラヌト思フノデアリマス、海軍大臣ハ恐
ラク海軍ノ前途ヲ考ヘラレテ、餘リサウ云
フコトヲ突キ付ケテ、内閣ノ死命ヲ制スル
ヤウナコトニナッテハ海軍ノ將來ノ爲ニ宜
シカラザルモノト御考ヘニナルカ知レマセ
ヌケレドモ、今ヤ、サウデナインデス、モ
ウドン詰リニナッテシマッテ居ルノデス、モ
ハ疑ヲ有テ居ルシ何等信任シテ居ナカッタ
ノデアリマスルガ、二十日ノ質疑應答ノ結

要ハナイ、海軍大臣ハ一面ニ於テハ國務大
臣デアリマス、財界ノコトヲ能ク承知サレ
テ自分ノ國防ニ於テモ缺陷ガナイヤウニサ
レテ、初メテ海軍大臣タルノ職責ヲ全ウス
ルモノデアラウト信ズルノデアリマス、今ハ
眞ノコトヲ申サナケレバ此問題ハ埠ガ明カ
ヌグラウト思ハレマスガ、海軍デハ軍參議
官アタリハ非常ニ心配サレテ居ル、安保海
軍大臣ハ能ク御承知ノ筈デアル、第二次國
防計畫ヲ以テシタナラバ國防ノ安固ヲ期シ
得ラレナイカラ、寢ネテモ覺メテモ此問題
ガ心配ニナッテ寢レヌト云フ狀態デアリマ
ス、サウ云フ海軍ノ首腦ガ心配サレテ居ル
コトヲ其儘ニサレテ海軍大臣タルベキ者ガ
唯政府ノ御都合ヲ考ヘラレテ、第二次補充
計畫ヲ丸デ雲烟過眼視サレルト云フコトハ
私ハ實ニ不可解千萬ナコト言ハナケレバ
ナラヌト思フノデアリマス、海軍大臣ハ恐
ラク海軍ノ前途ヲ考ヘラレテ、餘リサウ云
フコトヲ突キ付ケテ、内閣ノ死命ヲ制スル
ヤウナコトニナッテハ海軍ノ將來ノ爲ニ宜
シカラザルモノト御考ヘニナルカ知レマセ
ヌケレドモ、今ヤ、サウデナインデス、モ
ウドン詰リニナッテシマッテ居ルノデス、モ
ハ疑ヲ有テ居ルシ何等信任シテ居ナカッタ
ノデアリマスルガ、二十日ノ質疑應答ノ結

ルノデアリマス、今ヤ、ドウカシテ打開サ
レナケレバ此問題ハ埠ガ明カナイノデアリ
マス、ナカ／＼此儘デ、ヂ、トシテ兩方ガ納
マルベキモノデハナイノデアリマス、ソレ
デ今ヤ決済サレナケレバナラヌ時ニ遭遇シ
テ居ルモノト私ハ思フノデアリマス、即チ
其財源ヲ減稅ノ方ヘ御使ヒニナッテシマッ
テ、而シテ海軍ノ必要デアル所ノ、缺クベ
カラザル所ノ補充計畫ヲ今後ドウシテ實現
シタル思召ニナルカ、何所カラ財源ヲ持ッテ
サレル思召ニナルカ、屢々此コトニ付テ御聞キ申
シタノデアリマスケレドモ、ノレハ大藏大臣
ガ心配ニナッテ寢レヌト云フ狀態デアリマ
ス、サウ云フ海軍ノ首腦ガ心配サレテ居ル
コトヲ丸デ雲烟過眼視サレルト云フコトハ
唯政府ノ御都合ヲ考ヘラレテ、第二次補充
計畫ヲ丸デ雲烟過眼視サレルト云フコトハ
私ハ實ニ不可解千萬ナコト言ハナケレバ
ナラヌト思フノデアリマス、海軍大臣ハ恐
ラク海軍ノ前途ヲ考ヘラレテ、餘リサウ云
フコトヲ突キ付ケテ、内閣ノ死命ヲ制スル
ヤウナコトニナッテハ海軍ノ將來ノ爲ニ宜
シカラザルモノト御考ヘニナルカ知レマセ
ヌケレドモ、今ヤ、サウデナインデス、モ
ウドン詰リニナッテシマッテ居ルノデス、モ
ハ疑ヲ有テ居ルシ何等信任シテ居ナカッタ
ノデアリマスルガ、二十日ノ質疑應答ノ結

等信念ヲ持タレヌノデアリマス、前カラ私
ナイト云フコトデアレバ財源ヲ確保シテ置
カナケレバナラナイノデアリマス、此政府
ノ財源ハ枯渴シ缺乏シテ居ルノデアリマ
ス、窮乏シテ居ル時デアリマスカラ、到底

三年バカリ先キニ回復スルトハ思ヒマセヌカラ、其時ハ實現ハ斷じテ出來ナイコトデアラウト思フノデアリマス、若シモ放棄シタト云フコトデアルナラバ、何ヲカ論ズルコトノ必要ハナイノデアリマス、如何ナルノ方ニ御使ヒニナッテモ少シモ異存ハ海軍ノ方デハアルベキモノデハナイノデアリマス、將來必要ダト思フノヲ前ニシテ、自分ノ爲ニ保留サレタル所ノ財源ヲ、他ニ其儘易ミト利用サレテシマフト云フコトデアルナラバ、是ハ定メシ海軍モ、……是ハ第二次補充計畫ハ御捨テニナッタモノト私共ハ判斷シテモ宜シイノデアリマスルカ、其點ヲハキリト伺ヒタイノデアリマス。

○國務大臣(男爵安保清種君) 御答ヲ申上ゲマスルガ、井上男爵ニ對シテハ幾度カ同ジコトモ申上ゲタト存ジマスルガ、倫敦條約ノ結果ト致シマシテ、只今兵種ノ缺陷ガアツテ、ソコニ若干ノ兵力ノ不足ヲ感ズル、不足ヲ感ズルト申シマスルノハ、外國ハ協約國ガ其條約ノ權利ヲ全部行使シタ場合ニ是レノノ缺陷が起ル、斯ウ云フ意味ニ自ラナツテ參ルノデアリマシテ、之ヲ直ニ外國ハチットモ權利ヲ四分ノ一ホカ行使セヌケレドモ、我國ハ全部行使シテ、而モ尙ホ缺陥ガアルノダト云フ意味ニハナラナイノデ

アリマス、即チ幾タビモ申シマスヤウデアリマスケレドモ、此度ノ計畫ト致シマシテ、所謂其缺陷ヲ補フト云フコトニ是非共必要トスル種類ノモノハ全部網羅シテ著手スルコトニナッテ居ルノデアリマス、後ニ残シタモノト云フモノハ始終數ヘ立テラレマス通り、驅逐艦ノ六隻ト云フモノトカ、或ハ航空母艦ノ一隻、機雷敷設艦ノ一隻ト云フヤウナ意味ノモノデアルノデアリマス、是等ノモノハドウシテモ矢張リ外國ノ狀況ニ應ジテ造リ、外國ノ狀況ニ應ジテカラ徐ニ著手シテモ國防上別ニ遲クモナイトト云フヤウナ意味ノモノデアルノデアリマス、是等ノモノハドウシテモ矢張リ外國ノ狀況ニ應ジテ造リ、外國ノ狀況ニ應ジテカラ徐ニ著手シテモ國防上別ニ遲クモナイトト云フヤウナ意味ノモノデアルノデアリマス、斯ウ云フ意味ニナッテ居ルノデアリマシテ、茲ニ直ニ此度ノ計畫、次ギ次ギニ起ル計畫ノ中ニ其權利ガ全部行使シテナケレバ國防ガ危イ、斯ウ云フ意味ニハ考ヘテ居ラナイノデアリマス、從テ茲ニ此度ノ計畫ト致シマシテ三億七千四百万圓、ソレカラ今丁度井上男爵ノ御指摘ニナリマシタ通り、航空隊ノ二隊、十二年度、十三年度ニ造ルコトニ致シマシタカラ、五千万圓程ソコニ保留財源ノ五億八百万圓以降ニ出テ居リマス、ソレハ仰セノ通リデアリマスルガ、之ヲ以テ一先ツ缺陷ヲ備ヘリト云フ信念ヲ以チマシテ、即チ其餘剩財

源ト云フモノヲ、財源ノ中カラ其餘剩ヲ減税ニ向ケルト云フコトハ、是ハ適當デアルト信ジマシタ次第デアル、是ハ作戰計畫ノ議ヲ重ネテ茲ニ至リマシタ次第デアル、何モ唯内閣ノ都合トカ云フヤウナコトヲ段々御指摘ニナリマシタケレドモ、サウ云フ次第デハ決シテナイノデアリマス、最後ニ今ハドン詰リノ時期デアツテ、第二次計畫ヲ放棄シタノカシナインカ言明セヨ、曖昧ナ答辯デハイカヌト云フコトデアリマスガ、是ハ幾度モ繰返シマスヤウニ、第二次計畫ト云フコトニ付テハ先程申上ゲマシタヤウニ、海軍ノ計畫ハ當然或ル年度カラ年度ニ瓦ツテ、其計畫ヲ持ツト云フノガ、即チ海軍力、海軍軍備ヲ帝國トシテ保持スル所以デアルノデアリマスカラ、ドウシテモ是ハ持タナケレバナラヌノデス、ソレヲイツカラドウ云フ内容ヲ以テ始メルカト云フコトヲ今日マダ具體的ニ決メテナイ、即チ計畫トシテ政府ハ持ツテ居ラヌト云フコトヲ申上ゲテ來テ居ル所以デアリマシテ、決シテ是ガ要ラヌ、ツット先キマデ延バシテ宜ヒト云フ趣意デハ決シテナイノデアリマス、此邊マスルガ、決シテ今御話ノヤウナ趣意ニ漫

然考ヘテ、ソンナモノハ、ドウデモ宜イト考ヘテ居ラレルトハ、私ハ信ジナイノデアリマス、即チ今申上ゲタヤウナ第二次計畫ハ放棄スルトカセヌトカ云フ問題デハ無論或ル時期カラヤツテ行カナケレバナラヌト云フコトハ、是ハ申上ゲルマデモナイコトト考ヘマス。

○男爵井上清純君 ソコノ所ガ甚ダ不明デアルノデアリマス、或ル時期ト云フコトガ非常ニ不明デアリマス、ソレハ海軍ノ補充計畫ト云フモノハ年々不斷ノモノデアリマシテ、次カラ次へ移ツテ行クコトハ當然ノコトデアリマス、是ハ其意味デヤナイノデアリマス、サウ云フ意味ナラバ十二年度先キリマス、ソレカラニマダ残サレタ權利ヲ行使シテ、次カラ次へ移ツテ行クコトハ當然ノコトコトデ宜イノデアリマス、今ノ問題ハ十一年度ヨリ前ニマダ残サレタ權利ヲ行使シテ居ルノデアリマス、次カラ次へ連續シテ行クト云フヤウナ不斷ノ補充計畫デナインカレバナラヌノデアル、其コトニ付テ論ジテ居ルノデアリマス、次カラ次へ連續シテ行クト云フヤウナ不斷ノ補充計畫デナインカレバナラヌノデアル、其コトニ付テ論コトハ再三再四申上ゲタ次第デアリマス、其意味合ノ補充計畫デナクシテ、今度ノ第二次補充計畫ト云フモノハ、第一次補充計畫ニ不可分ノモノデアル、サウ云フ計畫ハ今マデノ御答辯ニ依リマスルト、モウ大シタ必要ハナイヤウナ御答辯デアルヤウデア

リマス、即チ倫敦條約カラ及ボシタ所ノ缺陷ハ第一次補充計畫ヲ以テスル必要ハナイト云
フヤウナ御答辯デアリマシタ、其御答辯デアルナラバ、第二次補充計畫ハ、先づ海軍トシテハ出來タナラバ尙更宜イ、出來ナクテモ大シタ缺陷ニハナラヌト云フヤウナ御考ノヤウニ私共ニハ聽取レタノデアリマスカラ、其程度ニ私共ハ承認シテ宜シイノデアリマセウカ、再ビ念ヲ押シテ承リタイノデアリマス

○國務大臣(男爵安保清種君) 申上ゲマスガ、私ノ申上ゲ方ガ言葉ノ足ラヌ點ガアリマシタカハ存ジマセヌケレドモ、決シテ第二次計畫ト云フモノガ餘リサウ要ラヌモノデアルト云フヤウナ意味ノコトハ無論ナイノデアリマス、是ハ矢張リ是非トモ必要ナモノト考ヘテ居ルノデアリマス、唯財源等ノ關係ニ於キマシテハ、御話ノ通り昭和十二年以後ノ六千万圓ト云フモノハ、毎年アルト云フコトニ付テ、其立前デ或ル年度カラ著手スルニ付テ、計畫ヲ立テルニ付テ、ソレヲ被セル財源ハ、御話ノ通り持ツテ居ラシタ通り、既ニ計畫ヲ立てテ之ヲ國防上必要トスル、ソレハ屢々申上ゲマスルヤウニ

ト云フモノハ絶対ナモノデアルト云フコトニ、私共ハ承知シテ宜シイノデアリマスカモ是レ是レノモノガ必要タ、是レ是レノ艦種ガ是ダケノ數量必要タト云フ信念ヲ以テ立テマシタ其海軍ノ計畫ニ對シテ、之ヲ實行スル上ニ其政府ガ全力ヲ傾注スルト云フコトハ、是ハ當然ノコトト確信ヲ致シテ居ルノデアリマス、唯二十日ノ井上男爵カラ御尋ニナリマシタ其財源ヲ増税カラヤルカ、公債カラヤルカヲ言明セヌカト云フヤウナコトノ御尋ニナッタニ付キマシテ、濱口總理ハ、ソレハドウ云フモノニ依テ其經費ヲ捻出スルカト云フコトハ、今日ノ場合之ヲ御答ヘスベキモノデハナイト云フコトデ差控ヘラレタノデアリマシテ、決シテ其經費ニ付テ雲烟過眼視シテ居リマス意味デハナイノデアリマスカラ、其邊一ツ御諒承ヲ御ノデアリマス、然ルニ已ノ爲ニ保留ニ委讓サレルト云フコトニ付テハ、私共ハ不可解ニ感ズルノデアリマス、ソレハ今唯一ノ直グ御使ヒニナラヌカラ、財源ハ他ニ流用シテモ宜シイト云フナラバ、假令ソレガ年限ガアルカラト云フテモ大變ナ間違デアリマス、此保留財源ト云フコトハ申スマデモノト思フノデアリマス、其大事ナ時ニ一億何千万圓ト云フヤウナ多額ノ費用ニ付テモノト思フノデアリマス、其大事ナ時ニ一億何千万圓ト云フヤウナ多額ノ費用ニ付テハ考慮シテ貰ハナケレバナラヌ、概計表ノ中ニハ少クトモ之ヲ入レ込ンデ置イテ下サラナケレバ、實現ノ可能性ガ乏シイモノトシテソレヲ取テ貰フト云フ先約ヲスルモナイコトデアッテ、將來豫算ニ先づ先取權人デモ分ルノデアリマス、國務大臣ノ衝ニ見ナケレバナラヌノデアリマス、ソレハ素イデ、其時ニハドウカナルダラウト云フヤ

今日第二次計畫ガドウデアル、斯ウデアルト云フコトノ議論ヨリカハ、其際ニ當ツテ、モ是レ是レノモノガ必要タ、是レ是レノ艦種ガ是ダケノ數量必要タト云フ信念ヲ以テ立テマシタ其海軍ノ計畫ニ對シテ、之ヲ實行スル上ニ其政府ガ全力ヲ傾注スルト云フコトハ、是ハ當然ノコトト確信ヲ致シテ居ルノデアリマス、唯二十日ノ井上男爵カラ御尋ニナリマシタ其財源ヲ増税カラヤルカ、公債カラヤルカヲ言明セヌカト云フヤウナコトノ御尋ニナッタニ付キマシテ、濱口總理ハ、ソレハドウ云フモノニ依テ其經費ヲ捻出スルカト云フコトハ、今日ノ場合之ヲ御答ヘスベキモノデハナイト云フコトデ差控ヘラレタノデアリマシテ、決シテ其經費ニ付テ雲烟過眼視シテ居リマス意味デハナイノデアリマスカラ、其邊一ツ御諒承ヲ御ノデアリマス、然ルニ已ノ爲ニ保留ニ委讓サレルト云フコトニ付テハ、私共ハ不可解ニ感ズルノデアリマス、ソレハ今唯一ノ直グ御使ヒニナラヌカラ、財源ハ他ニ流用シテモ宜シイト云フナラバ、假令ソレガ年限ガアルカラト云フテモ大變ナ間違デアリマス、此保留財源ト云フコトハ申スマデモノト思フノデアリマス、其大事ナ時ニ一億何千万圓ト云フヤウナ多額ノ費用ニ付テモノト思フノデアリマス、其大事ナ時ニ一億何千万圓ト云フヤウナ多額ノ費用ニ付テハ考慮シテ貰ハナケレバナラヌ、概計表ノ中ニハ少クトモ之ヲ入レ込ンデ置イテ下サラナケレバ、實現ノ可能性ガ乏シイモノトシテソレヲ取テ貰フト云フ先約ヲスルモナイコトデアッテ、將來豫算ニ先づ先取權人デモ分ルノデアリマス、國務大臣ノ衝ニ見ナケレバナラヌノデアリマス、ソレハ素イデ、其時ニハドウカナルダラウト云フヤ

充計畫ヲ其儘ニ放棄シテ居ラレル所ニ問題
ガアルノデアリマス、而モ是ガ一國ノ總理
大臣タル濱口氏ガ十分ニ、此倫敦條約カラ
得タ所ノ國防ノ缺陷ヲ御承知ニナッテ、ソレ
程軍事參議官ナドガ心配シテ居ラレルコト
デアルカラ、自分モ深ク國ノ爲ニ是ハ考ヘ
ナケレバナラヌ、今ハ併ナガラ甚ダ困難ナ
ル財政デアルカラ、他ニハ之ヲ讓ルケレド
モ、必ズ此財源ヲ以テ此希望ハ満タシテ貰
フノデアルト云フヤウナ信念デモ茲ニ御披
瀝ニナツタナラバマダシモ、私共モ是ハ了解
ガ出來ルケレドモ、サウ云フ御信念ノ御披
瀝モナイ、而シテ其第二補充計畫ト云フ
モノハドンナモノカト、段々御聽キスレ
バ、是ハドウシテモ絶對的ト申サナケレバ
ナラヌヤウナ御答ガアッタノデアリマス、而
モ其際ニ海軍當局者ガ大事ナ保留ト云フヤ
ウナ財源ヲ取ラレテシマッテ、平氣デ居ラレ
ルコトニ於テ國民惑ハザルヲ得ナイノデア
リマス、斯ノ如キコトデアッタナラバ、國民
ハソシナ不確實ナモノデアルト考ヘルノハ
當然グラウト思ヒマス、ソレナラバ是ハ減
アルト私モ考ヘズニハ居ラレナクナルノデ
アリマスガ、併ナガラ私モ其一部始終其間

ノ消息ハ承知ヲシテ居リマスカラ、今此財源ヲ他ノ方ニ委譲シタナラバ、必ズ第二補充計畫ハドウシテモシナケレバナラヌト云フコトニナルノデアリマスカラ、ドノ内閣ガ更フテモ是ハ必ズ出テ來ル、若シヤラナカッタ場合ニ於テハ、大キナ問題ガ起キルカラ何レノ内閣ト雖モ之ヲヤルコトニナリマス、然ル時ハ當然可ナリ増稅ニナフテ、國民ノ恨フ受ケテ、サウシテ第二補充計畫ヲ實現シナケレバナラヌト云フヤウナ、非常ナ苦シイ破目ニ陥ラナケレバナラヌコトニナル、今當然自分ガ保留シテ居ル所ノ財源ヲ打遣ラレタナラバ、次ニハ增稅カ、或ハ公債ヲ發行スルカ、二ツノ方法シカナイノデアリマス、何トナレバ自然增收ト云フモノハ、主税局長アタリハ自然ニアルト仰セニナルデアリマセウケレドモ、ソレハ不確實ナコトデアリマス、ドウ云フ變動ガ來ルカルダヌノデアリマス、前途ノコトハ甚ダ不確實ナコトト思フノデアリマス、此點ヲ考ヘマスルト、私ハ今保留シテ置カナカッタナラバ、第二補充計畫ハ出來ナイモノデアラウト思フノデアリマス、出來ナクテモ宜シイノカト云フコトヲ伺フタ時ニハ、海軍大臣ハソレハ困ル、海軍デハ是ハ必要デアルカラ、出來ナケレバ困ルノダト云フ御答辯デ

アリマシタ、然ラバ今日之ヲ他ニ委譲サレバ、到底實現ハ不可能デアラウト用
フ、是モ總理大臣ノ御信念ガ深クアリマスレバ、私ハ到底是ハ可能
レバ兎モ角モ、アノヤウナ答辯ヲナサレル
總理大臣デアルナラバ、私ハ到底是ハ可能
性ガ乏シイト斷ゼザルヲ得ナイノデアリマ
ス、且又長クナリマスルケレドモ、先達ツテ
モ濱口總理大臣モ仰セニナリマシタ、又今
日モ海軍大臣ガ仰セニナリマシタガ、國家
ガ國防ノ爲ニ必要缺クベカラザルト見夕場
合ニ於テハ、如何ナル方策ヲ執ツテモ、之ヲ
補フコトガ當然ノコトデナケレバナラヌ、
今カラオ前ハソンナ心配ヲスル必要ハナイ
デヤナイカト云フ ヤウナ御答辯モアッタ
ウデアリマシタ、此處ガ大事ナ所デアリマ
ス、若シモ今戰ガ始マル際ニナッテ、直グ國
防ト云フモノヲ滿スコトガ出來ルナラバ何
レノ國ト雖モ平常カラ無用ノ長物ヲ養ヒテ
居ル國ハナカラウト思フノデアリマス、又
何レノ國家ガ軍縮會議ナドヲ設ケテ御互ニ
軍備ヲ制限スルナント云フコトハヤラナイ
ト思フ、イツ何時デモ自分ノ必要ナ軍備ヲ
整ヘルコトガ出來ルカラシテ、イザサラバ
ト云フ時軍備ヲ整ヘテ、而シテ敵ニ向フト
備ト云フモノハナイノデアリマス、併ナガ

如ク迅速ニ軍備ヲ一夜ニ於テ作ルコトハ出來ナイノデアリマスカラ、茲ニ平常カラノ軍備ノ必要ガ起テ來ルノデアリマス、即チ海軍ノ一万噸ノ巡洋艦ニ致シマシテモ、一生懸命ニナッテ造レバ一年半デ造レルト云フ仰セデアリマスケレドモ、サウ云フコトハ非常ニ困難ナコトデアルト、我ミ共考ヘナケレバナラヌノデアリマス、假令出來マシテモ、噸ノ單價ト云フモノハ非常ニ高價ナモノニナッテシマウノデヤナイカト思フ、又アノ複雜ナル機械ガアノ狭イ所ニアルノデアリマスカラ、中ミ多人數ヲ入レテ急速ニ造ルト云フコトハ、不可能ナコトデアルト素人デモ分ルノデアリマス、一万噸ノ巡洋艦ニ於キマシテモ、先ヅ三年掛ルト云フコトデアリマスカラ、平素カラ軍備ヲ相當ニ整ヘテ置カヌ限リニ於テハ、到底イザ鎌倉ト云フ場合ニ於テ間ニ合ハヌノデアリマス、其爲ニ軍備制限會議ト云フヤウナモノモ開カレテ、サウシテ此事ハ是等ノ事情ヲ如實ニ語タモノデアラウト思フノデアリマス、殊ニ海軍ノ軍備ハ申スマデモナク平時ノ軍備其モノガ戰時ノ軍備デアルノデアシテ、陸軍ハ平素十万人ヲ養テ居リマシテ

モ、戰時ニ於テハ之ヲ百万人ニスルコトハ出來マスケレドモ、海軍ニ於キマシテハ、矢張リ一ツノ軍艦ハ戰時ニ於テモ軍艦ヲ増スコトガ出來ナイノデアリマス、常備軍即チ戰時ノ軍デアリマス、ソコニ於テ、海軍ノ軍縮會議ト云フモノハ戰時ノ軍備ヲ論ジタモノデアッテ、眞劍ニ行カナケレバナラナイ會議デアリマス、戰時ニドウスルコトモ出來ナイト云フ所ニ平時ノ軍備會議が結束ヲ付ケテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、平時ノ會議ニ於テ制限サレタ軍備ヲ以テ、戰時ニ於テハイヤデモ應デモソレダケデ以テ戰ヲシ、又國ヲ護ラナケレバナラヌノデアリマス、今度ノ倫敦條約ニ於テ制限サレタ其軍備ノ限界ニ於テ、我ニハ明日ノ戰ニ向ハナケレバナラヌノデアリマス、ベカラザルト見タ時ニハ、其時初メテ何物モ措イテ其軍備ヲ整ヘレバ宜シト云フヤウナ考へハ誠ニ素人ノ考デアッテ、海軍大臣ノ御口カラサウ云フコトガ出ルト云フコトハ不思議千萬デアリマシテ、恐ラクハサウ云フ意味ハナカッタノデアリマセウケレドモ、今ヤ太平洋ト云フモノハ浪ガ平カデハナイノデアリマス、何時戰ガ起ルカ分ラヌヤウナ危険狀態ニアルト見ルノデアリマス、

是ハ物ノ見方デアリマスルカラ、或御方ハ例ヘバ幣原外務大臣ノ如キハ、永久ノ平和ノ眼ニハサウ樂觀ハ出來ナイノデアリマス、少クトモ此八時巡洋艦ノ缺陷ガ生ズル所ノ、千九百三十六年カラ四十年ニ亘テ、イ會議デアリマス、戰時ニドウスルコトモ出來ルノデアリマスカラ、是デ私共ハ非常ニ心配スルノデアリマス、其缺陷ヲ早ク救シテ置カナケレバイケナインノデアリマス、今條約デ以テ得タ所ノ權利ヲ全部行使シナケレバ、此缺陷ヲ補フコトガ出來ナイト云フコトハ海軍大臣モ自カラ屢々此處デ聲明セラレテ居ルノデアリマス、然ルニ殘サレタ権利ノ保留財源ヲ、他ニ移サレシマツテ、平然トシテ居ラレル、是ハドウモ海軍大臣トシテノ御考、御答辯ハ非常ニ苦シイ立場デモ申上ゲマスヤウニ、此倫敦條約ノ時、現テ憂慮サレテノ段々ノ御質疑、又御考ハ謹デ傾聽イタシマシタ次第デアリマス、幾度モ申上ゲマスヤウニ、此倫敦條約ノ時、現テハ其權利ヲ行使スル、セヌト云フコトハレタ其權利ヲ行使スル、セヌト云フコトガ、一體軍備ノ總體的ニドレダケノ比例ヲ持ツカト云フコトニ現ハレテ來ルノデアリマシテ、御承知ノ通り、亞米利加ノ此度ノシテ、今日的確ナ計畫ヲ立テルコトガ出來カト云フコトハ、今申上ゲマシタ外國ノ状況等ニモ依リマスル次第デアリマスルカラシテ、今日的確ナ計畫ヲ立テルコトガ出來ナイ、又立テル時機デナイト考ヘテ居リマス、從テ其財源ヲ……何年カノ後ノ財源ヲベキ財源ト云フモノハ六千万圓アルノデアモ、昭和十二年度以後ハ海軍デ保留シ得リマスルカラ、或年度ヲカブセルト云フト相當ノ經費ト云フモノハ、是ハ総合せ得ラレルモノト云フ確信ヲ持テ、今日ニ至ラテ

○國務大臣(男爵安保清種君) 井上男爵ノ大分國家ヲ憂ヒテ、海軍國防ノ前途ニ對シテ慮サレテノ憂患ヒテ、海軍國防ノ前途ニ對シテ居ルノデアリマス、然ルニ殘サレタ権利ノ保留財源ヲ、他ニ移サレシマツテ、平然トシテ居ラレル、是ハドウモ海軍大臣トシテノ御考、御答辯ハ非常ニ苦シイ立場デモ申上ゲマスヤウニ、此倫敦條約ノ時、現テハ其必要ガアルコトハ當然デアリマスケレドモ、ドウ云フ歩合ニ建造シテ行クカト云フコトハ、今申上ゲマシタ外國ノ状況等ニモ依リマスル次第デアリマスルカラシテ、今日的確ナ計畫ヲ立テルコトガ出來ナイ、又立テル時機デナイト考ヘテ居リマス、從テ其財源ヲ……何年カノ後ノ財源ヲベキ財源ト云フモノハ六千万圓アルノデアモ、昭和十二年度以後ハ海軍デ保留シ得リマスルカラ、或年度ヲカブセルト云フト相當ノ經費ト云フモノハ、是ハ総合せ得ラレルモノト云フ確信ヲ持テ、今日ニ至ラテ

居リマス次第アリマス、之ヲ繰返シテ申上ゲマスル次第アリマス、仰セノ如ク海軍ノ軍備ト云フモノハ、平時ノ軍備ガ即チ戰時ノ軍備デアルト云フコトハ御説ノ通りデアリマシテ、サウ云フ點ガ最モ我ミノ心配ヲシテ、此計畫ヲ案畫シマシタ次第アリマス、減稅ト云フコトトノ關係ハ、概計表ニナイモノハ第二次計畫ハ出來ヌト云フ御話デアリマスケレドモ、概計表ニ今年立て、又來年モ立テ、再來年モ立テ、狀況ニ應ジテソレゾレ立テ參ル、今年ノ概計表ニ是ハアリマセヌケレドモ、大藏大臣モ屢々言明セラレマシタ、概計表ニ餘剩ト云フモノガ極メテ少ナイケレドモ、海軍ノ即チ計畫ト云フモノハ昭和十一年度以前ニアルト云フコトヲ念頭ニ持テ、出來ルダケノ方法ヲ以テ、財源ト云フモノヲ年々ニ餘ラシメルヤウナ考慮ヲ致シマスト云フコトモ言々テ居ラレマス、又今ノ稅制、行政ノ整理ト云フヤウナ所デ幾ラカヲ餘マシ得ルト云フ見込モ絶無デハナイノデアリマスルカラ、私ハ此處ノ概計表ニナイカラ絶對ニ第二次計畫ハ出來ナイモノダト云フヤウナ意味ニハ考ヘテ居リマセヌ次第アリマス、御趣意ノアル所ハ能ク分リマシタ次第アリマスルガ、私ノ方ノ考ヘテ居リマス所ハ

以上ノ意味デアリマシテ、左様御諒承ノ程ヲ願ヒタイト思ヒマス
○男爵井上清純君 海軍大臣ノ御答辯ヲ諒承イタシマシタ、併ナガラ今ノ御言葉ニ依デアリマシテ、私共ハ第二次補充計畫ト云フモノガ必ズ絶對的ノモノデアリ、必ズ或期間ニハ是ガ出テ來ルモノト認メルコトガ正シベ來年ノ概計表ノ中ニハ之ヲ御加ヘニナルコトニ付テ御考慮ヲ拂ハレル御積リデアリマスルカ、其點ヲ伺ヒタイノデアリマスハ、來年ノ概計表ニ……其財源ヲ昭和九年ナリ十年ナリノ所ニ現ハスカト云フ御尋ノヤウニ伺ヒマシタガ、ソレハ私今日此處デ言明イタスコトハ致シカネルノデアリマスルガ、私ノ無論考ト致シマシテモ、亦政府ノ考ト致シマシテモ、兎ニ角此豫算ノ……分ハ希望スルト云フコトダケデモ宜シノデアリマス、希望スルト云フ位ガ出ナケレバナラヌト思フノデアリマス、來年度ハ海軍大臣ハ此概計表ノ中ニ海軍ノ希望モ入レバ御希望ハナイカドウカト云フコトヲ伺フノデアリマス

○國務大臣(男爵安保清種君) 概計表ニ入ニ於キマシテモ、希望決議ト云フモノヲ御付ケニナリマシテ、十分其貴族院ノ意ノアラ、私ハ此處ノ概計表ニナイカラ絶對ニ第一次計畫ハ出來ナイモノダト云フヤウニ全力ノ傾注イタシマス覺悟デアリマスケレドモ、併シ來年ノ概計表ニドウト云フ意味ノ

コトハ今日茲デ御答ヲ申上ゲ兼ネル次第デアリマス、左様御了承ヲ願ヒマス
○男爵井上清純君 概計表ニ出スコトハ、承イタシマシタ、併ナガラ今ノ御言葉ニ依リマシテ、私共ハ第二次補充計畫ト云フモト思フノデアリマス、此位ノ程度ヲテモ宜シノデアリマス、此位ノ程度ヲテモ宜シノデアリマス、サウ云フコトヲ大藏省ニ御通知ニナレバ宜シノデアリマス、サウ云フコトニ付テ御遠慮ナサツテ居ルコトハナイトコトニ付テ御努力ニ加ヘルコトニ向テ御努力ニナカルト思フノデアリマス、必要ノモノデアルナラバ概計表ノ中ニ加ヘルコトニ向テ御努力ニナカルト云フコトヲ仰セニナッテ少シモ差支ナイコトデアラウト思フ、サウ云フヤウナコトハ、大藏省ノコトヲ仰セニナッテ少シモメニナルト云フコトヲ仰セニナッテ少シモアツタト思フノデアリマス、海軍大臣ハ此軍事參議官ノ言ハレタコトト云フヤウナ御言葉ガスルコトヲ好マナイト云フヤウナ御言葉ガデアルケレドモ、ソレ等ハ自分ハ茲デ論議スルコトヲ好マナイト云フヤウナ御言葉ガアツタト思フノデアリマス、海軍大臣ハ此軍事參議官ノ言ハレタコトト云フモノニ對シテ一體ドウ云フ御考ニナツテ居リマスカ、此前モ申上ゲタノデアリマスケレドモ、サウ云フコトハ自分ハ論議スルコトハ矢張リ欲シナイト云フヤウナ御返答デアツタノデアリマスケレドモ、軍事參議官ハ申ス迄モナク帷幄機關ノ一人デアルノデアリマシテ、其方ガ國防ヲ憂ヒラレテサウシテ發セラレル、單ニ希望ガアリマシテモ、是ハ大藏タル所ノ言葉ト云フモノハ、是ハ重キヲナラ、私ハ此處ノ概計表ニナイカラ絶對ニ第一次計畫ハ出來ナイモノダト云フヤウニ全力ノ傾注イタシマス覺悟デアリマスケレドモ、併シ來年ノ概計表ニドウト云フ意味ノ是非是ダケ年度ニ入レテ貴ハナクチ確實ニ是ナラムト云フヤウナ意味ニハ十分信念ヲ認サレテ居ラレタヤウデアリマスケレド

モ、此點ニ付テ海軍大臣ハドウ御考ニナル
カ、私ハ是ハ重要ナル事柄デアラウト考ヘ
マスカラ、十分ニ承リタイト思フノデアリ
マス、此コトハ或ハ軍事參議官トシテノ御
發表デナイト云フコトデアルカモ知レマセ
ヌガ、苟モ一軍事參議官ガ聲明ノヤウナ發
表ヲサレタノデアリマスルカラ、是ハ尊敬
ヲ以テ見ナケレバナラヌノデアリマス、政
治家ガ言々タ言葉ハ尊敬シ、軍事參議官ノ言
葉ハ之ヲ輕ク見ルト云フ譯ニハ私共ニハ參
トモ同等ニ私共ハ之ヲ見テ、サウシテ判断
シテ、サウンテ大イニ自分達モ判断シテ居
タルト云フコトヲ濱口總理大臣ニ申上ゲタノ
デアリマスガ、加藤軍事參議官ガ聲明サレ
タ言葉ヲ海軍大臣ハ否認サレルノデアリマ
スカ、其點ヲ伺ヒタインデアリマス

アリマスガ、今併シソレハ加藤軍事參議官
ガ自ラ言ハレタモノデアルコトハ確メ得タ
ノデアリマスルカラ、ソレニ現ハレタ所ノ第
二次補充計畫ニ關スル分ハ正シイモノト私
共ハ考ヘナイ譯ニハ參リマセヌ、ソレヲ否
認サレルコトガ出來ルノデアリマスカ

○國務大臣(男爵安保溝種君) 井上男爵ノ
仰シヤル意味ハ私能ク要領ヲ得マセヌノデ
アリマスガ、花井博士ノ何ニ依テ得ラレタ
コトカ分リマセヌガ、豫算委員會デ申述ベ
ラレマシタ、私ガ加藤大將ガ左様ナコトヲ
言明サレタトハ思ハヌト云フヤウニ御答ヲ
致シタト記憶イタシテ居リマス、今日モ其
通リノ考デ居リマス、是ハ私ハ加藤大將ト
面談ヲシテ直接十分ニ話ヲ聽イテ居リマ
ス、未ダ曾テサウ云フ聲明ヲサレタコトハ
ナイト考ヘマス

○男爵井上清純君 成程海軍大臣ニ對シテ
ハ左様ニ仰セラレタカモ知レナイノデアリ
マスケレドモ、私ニハ之ヲ是認サレタノデ
アリマス、其處ニ見解ガ違フノデアリマス
ルカラ、御考モ達テ來タノデアリマセウケ
レドモ、是ハ併シ重大ナル問題デアルカト
思フノデアリマス、何トナレバ一軍事參議
官ガ滅多ニ斯様ナコトヲ言ハレル筈ハナイ
ノデアリマス、昨年來ノ經緯ヲ能ク知ッテ居

ルモノニハ無理カラヌコトデアルト考ヘラ
レルノデアリマス、非常ニ無理ナコトヲ政
府ガヤツタ爲ニ、斯ンナ問題モ起ツテ來ルノ
デアリマス、唯突然トシテ斯ノ如キコトガ
起ツテ來タノデナイノデアリマス、來ルベク
シテ來タノデアリマス、能ク軍令部ト膝ヲ
交ヘテ相談ヲセラレテ、國防ノ大事ヲ決セ
ラレタナラバ斯様ナコトハ起ラナカッタノ
デアリマス、然ルニサウ云フコトニ出ナイ
デ無理矢理ニ押付ケテ此大事ヲ決セラレタ
結果、アノ種々ノ問題ガ起ツタ上ニ、矢張リ
今日ニ於テモ斯ウ云フヤウナ一軍事參議官
ノ言葉トシテ世ノ中ニ漏レテ、ソレガ第二
次補充計畫ヲ具體シタ如キモノガ現ハレテ
來タノニハ、ソレ相當ノ理由ガアルコトハ
海軍大臣モ御承知ノ通リデアリマス、斯ノ
如ク海軍ニハ重要ナル補充計畫デアルコト
ハ之ヲ以テ見テモ分ルノデアリマス、如何
ニ軍事參議官アタリガ此計畫ノ實現スルカ
シナイカニ付テハ心ヲ晝夜惱マサレテ居ル
コドモ分ルノデアリマス、抑ヘヤウト思ツテ
モ抑ヘルコトガ出來ナイ、遂ニ斯ウ云フコ
トガ外ニ漏レタト云フコトモ、是ハ天ノ聲
ト言ハナケレバナラヌノデアリマス、傳ヘ
テ、第二次補充計畫其モノヲ指シタモノデ

アルト云フコトデアリマス、一點ノ間違ガ
ナイモノデアルト云フコトデアリマス、餘
リ海軍大臣ヤ何カゞ空トボケテ居ラレルカ
ラ、已ムヲ得ズ段々具體的ノコトヲ申述べ
ナケレバナラヌコトニナツテ來ルノデアリ
マス、外國ノ事情ヲ見ナケレバ分ラヌトカ
何トカ云フコトハ普通ノコトデアリマシ
テ、條約上デ決ッタコトハ、艦種モ決レバ順
數モチャント決^シテ居ルノデアリマス、多少
ノ出入ハアリマシテモ、ソレ以内デアリマ
ス、今更驅逐艦ヲ變更スル譯ニモ行カヌシ、
巡洋艦ヲドウスル譯ニモ行カナイノデアリ
マス、モウ砲ノ口徑カラ決^シテ居ルノデアリ
マス、順數モ決^シテ居リマスカラ、非常ナ發
明デモ起ラヌ限リニ於テハ、外國ト達フヤ
ウナモノガ出來得ベクトモ考ヘラレナイノ
デアリマス、ソレデアリマスカラ、制限外
ノ船ナンカト云フモノハ亞米利加デモ英吉
利デモ、ドコデモ問題ニハシテ居リマセヌ、
シテ居ラヌヤウナモノデアルカラ、制限外
ニ置イタノデアリマス、制限外ノ船ヲ以テ
補ハナケレバナラヌヤウナ、ソンナ補充計
畫ヲ持チナガラ、制限内ノマダ殘サレタル
所ノ權利ヲ行使スルコトモ出來ナイデ愚圖
愚圖シテ居ラレルカラ、茲ニ軍事參議官ノ
發表トナツテ現ハレテ來タコトデアラウト

思フノデアリマス、是ガ海軍大臣ガシッカリ
トシテ居ラレ、政府モ能ク其意ヲ酌ンデ、
アレ程心配シテ居ルノデアルカラ、實ニ是
ハ已ムヲ得ナイ補充計畫デアルト云フコト
ヲ真ニ悟ラレテ、サウシテソレニ向シテ進マ
レルト云フコトデアルナラバ、何ニモ斯ウ
云フヤウナ無理ナ發表ノヤウナモノガ起
テ來ナイト思フノデアリマス、此發表ノ善
シ惡シナドト云フモノハ別問題デアリマス
ケレドモ、是ハ一つノ天ノ聲ダト思フノデ
アリマス、而モ是ハ實際ニ即シタモノノデア
ラウト私ハ信ズル理由ヲ持テ居ルノデア
リマス、偶々花井博士ニ依テ發表セラレマ
シタガ、私モ其前カラ承知シテ居タノデア
リマスケレドモ、此コトハ單ナル一委員ノ
發表デナクシテ、國家ガ當ニ要望シテ居ル
所ノ聲デアルト私ハ考ヘタノデアリマス、
此コトニ付テハ、私ハ周到ナル注意ヲ拂ッタ
ノデアリマス、有ラユル注意ヲ拂ッテ間違ナ
イ所ニ於テ發表シタノデアリマス、此コト
ヲ申上ゲルノデアリマス、總テノ人ニ對シ
テ、有ラユル注意ヲ拂ッタ後ニ私ハヤッタノ
デアリマス、確カデアルコトヲ證明シタノ
デアリマス、斯ノ如キコトマデモ申上ゲナ
ケレバ、海軍大臣カラ眞味ノ話ヲ承ルコト
ガ出來ナカツタノデアルコトヲ悲シムモノ

デアリマス、是ハ亞米利加人ノ方ハ能ク知ッ
テ居ルノデアリマス、亞米利加ガ能ク知ッテ
居ルカラ、此三大原則ニ向シテ掣肘ヲ加ヘタ
ノデアリマス、日本ノ人ヨリモ亞米利加人
ノ方ガ餘程能ク知ッテ居ルノデアリマス、其
知ッテ居ルト云フコトハドコデ分ルカト言
ヘバ、アノ外交委員會ノ一部始終ヲ續ケテ
見タ人ニハ、直グ斯クマデ能ク分ッテ居タ
ノカト驚カレルノデアリマス、我ミガ茲デ
話スコトハ、昔ナラバ軍機ノ祕密ニ屬スル
モノデアリマスケレドモ、時代ハ遙カニ進
ウ既ニ世界公知ノコトデアリマシテ、何等
シヤウデヤナイカト云フコトガ、心アル所
ニ於テ不利益ニナリマスカラ、之ヲ十年ニ
延バシ、十五年ニ延バシテ、此權利ヲ行使
シタガ、私モ其前カラ承知シテ居タノデア
リマスケレドモ、此コトハ單ナル一委員ノ
發表デナクシテ、國家ガ當ニ要望シテ居ル
ヒラスルト云フノガ近代ノ戰爭デアリマ
ス、正々堂々、自分ノ持船、向フノ持船ヲ
公開シテ、之デ以テ戰爭スルト云フノガ近
代ノ戰爭デアリマス、軍機ノ祕密ニ隱レル
ト云フ所ガ段々ニナクナッテ來タノデアリ
マス、ソレデアルカラ條約ト云フコトハ非
常ニ大切ナモノトナッテ來ルノデアリマス、
條約ハ其軍機ノ上ヲ抑ヘテシマッタモノデ
アリマス、其「リミット」マデ補充シナカッタ
ナラバ、日本ニ關シテハ不安デアリマス、
マシテ……敢テ御答ハ望ミマセヌ、ドウカ

亞米利加ナドハ殊ニ大變權利ヲ保留シ得タ
ノデアリマスカラ、全部ヲ使タナラバ二十
億万圓掛ルノデアリマス、二十億万圓モ僅
カ五箇年間デ以テ費シタナラバ、急激ナル
造船ト云フモノガ起ル、又廳テ急激ナル造
艦ガ濟メバ、造船所ノ襄願ト云フモノガソ
コニ起テ來ルノデアリマス、非常ニ補充上
シタ人ニハ、直グ斯クマデ能ク分ッテ居タ
ノカト驚カレルノデアリマス、我ミガ茲デ
話スコトハ、昔ナラバ軍機ノ祕密ニ屬スル
モノデアリマスケレドモ、時代ハ遙カニ進
ウ既ニ世界公知ノコトデアリマシテ、何等
シヤウデヤナイカト云フコトガ、心アル所
ニ於テ不利益ニナリマスカラ、之ヲ十年ニ
延バシ、十五年ニ延バシテ、此權利ヲ行使
シタガ、私モ其前カラ承知シテ居タノデア
リマスケレドモ、此コトハ單ナル一委員ノ
發表デナクシテ、國家ガ當ニ要望シテ居ル
ヒラスルト云フノガ近代ノ戰爭デアリマ
ス、正々堂々、自分ノ持船、向フノ持船ヲ
公開シテ、之デ以テ戰爭スルト云フノガ近
代ノ戰爭デアリマス、軍機ノ祕密ニ隱レル
ト思フノデアリマス、其點ヲ能ク御承知ニ
ナリナガラ、我ミニ對シテハ亞米利加ト同
等ノヤウニ之ヲ御説明ニナリマスコトニ於
テハ、私ハ不服ニ考ヘルノデアリマス、今
ノヤウニ一軍事參議官ノ言葉ヲ唯否定セラ
マス、世ノ中ハ之ヲ認メルノデアリマス、
何モノモ之ヲ否定スルコトハ今ハ出來マセ
ヌ、此點ヲ能ク海軍大臣ハ御考ヘラナサイ
マシテ……敢テ御答ハ望ミマセヌ、ドウカ

今日ハ私共ハ第二補充計畫ガ絶對ノモノデ

アルコトガ分リマシタ、早晚二三年先ニ之
ガ出テ來ルコトモ分リマシタ、而モ財源ガ
今ハ先約セラレテ居ラナイコトモ分リマシ
タ、來年ノ概計表ニ之ガ上ルカドウカハ分
リマセヌケレドモ、恐ラクハ上ルコトト思
フノデアリマス、ソレモ分ッタノデアリマス、
而モ其時ニナッテ財源ガ非常ニ困難ヲシマ
シテ、大藏省ト海軍省ノ間ニ非常ナ問題ガ
起ルト云フコトモ今カラ豫知ガ出來ルノデ
アリマス、其時ハ内閣ガ變ツテ居ルカモ知レ
マセヌ、海軍大臣亦御更リニナッテ居ルカモ
知レナインデアリマス、併ナガラ此補充計
畫ハ依然トシテ残テ居ルノデアリマス、此
減稅法案ガ通過シテモシナクテモ、海軍ニ
殘サレタル所ノ四億八百万圓ハ、遂ニ今ノ
狀態デアッタナラバ使ハレテシマフノデア
リマシテ、新タナ財源ヲ見付ケナカッタナラ
バ、第二次補充計畫ハ希望ダケニ止ッテ實現
スルコトニ付テハ非常ナ困難ガ來ルコトヲ
今カラ海軍大臣ハ御覺悟遊バサレナケレバ
ナラヌコトヲ、私ハ茲ニ忠言シマシテ此質
問ヲ終リタイト思ヒマス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 皆サンニ御相
談申上ゲマスルガ、今海軍大臣シカ居ラレ
マセヌガ、海軍大臣ニ御質問ガアリマスカ
○森田福市君 簡單デアリマス……海軍大

臣ニ簡單ニ御尋不シテ見タ一、海軍大臣ノ先程ノ答ヲ聽イテ居ルト、奥齒ニ物ノ挾ッタヤウナ答デアル、遠キ山ニ霞ヲカケテ見ルガ如キ答辯デ齒切レガ宜クナイ、要スルニ軍人ハ軍人ラシク、テキパキトヤッテ戴クト、大變我ミノヤウナ頭ノ惡イ者ニハ能ク分ルガ、ドウモソコガムツカシイト見エテ能ク分ラヌ、ドノ點ガ分ラナカッタカト云フト、私ハ軍擴論者デハナイト云フコトハ前ニ申上ゲテ居リマス、軍縮論者デアリマス、前ノ話ヲ聽イテ居ルト、濱口首相ハ第二次補充計畫ト云フモノヲ政府ハ持テ居ラヌ、斯ウ明カニサレテ居ル、海軍大臣ハ第二次補充計畫ト云フモノハシナケレバナラヌ、シナケレバナラヌガ只内容ガアチラノ條約國ノ模様ヲ見テ、艦艇デアルトカ艦種ヲ決メテヤルノデアルカラ今カラ第二次補充計畫ニ要スル經費ノ計算ハ出來ナイ、ソレガ出來タ曉ニハ大藏大臣ニ何トカシテ貰フ積リデアル、斯ウ云フ風ニ我ミハ聞及ンデ居ル、ソコデ私ハ何トカシテ貰ハナケレバナラスト云フコトハ此間カラ御尋ネシタガ、何トカトハ何デアルカ、海軍部内ノ費用ヲ節約シテ持ツテ行クノデアルカ、増稅ニ依ルノデアルカ、公債ニ依ルノデアルカ、イッソ濱口總理ガ言ハレタヤウニ第二次補充計畫ハナシ

ト見テ行ケバ宜イノカ、此ドッヂカニ何トカ
スルト云フコトハ此中ニ含マレルノデアリ
マセヌカ、海軍ノ補充計畫ト云フモノハ無
シト見ルノガ適當カ、海軍大臣ハアルト言
フ、政府ハ持テ居ラヌト言フ、海軍大臣ハ
持テ居ルト云フコトヲ言ハレルガ、私ハ法
律屋デナイカラ分ラナイガ、海軍大臣モ閣
僚ノ一人デアル、國務大臣ノ一人デアル以
上、政府ノ一部ヲ構成シテ居ルモノトスレ
バ、是ハ素人考ヘカモ知レナイガ、政府ガ
持テ居ラヌコト即チ海軍ガ持テ居ラヌト
モ思ハレルシ、海軍部内ノ内部ノ計畫トシテ
サウデアルナラバ何トカスルトハ即チ海軍
部内ニ於テ節約スルカ、増税ニ依ルカ、公
債ニ依ルカ、或ハ他ノ省ノ經費ノ節約ニ依
ルノカ、先ヅ此四ツノ程度ヨリ私ニハ考ヘ
テ置キヤウハナイト思フノデアル、政府ハ
持テ居ラヌモ海軍ハ明カニ第二次補充
計畫ト云フモノヲシナケレバナラヌト云フ
コトハ斷定シテ間違ヒガナイ、今ノ四ツノ
中ノ何レニ依ルカト云フコトヲ御聽キシタ
イ

計畫ト云フモノノ必要ハ認メテ居リマスル
ケレドモ、ソレノ内容モ分ラズ、具體的ノ
計畫ヲ今海軍モ持ッテ居ラナイノデアリマ
ス、持ッテ居ラナイト云フコトハ政府モ持ッ
テ居ラナイト云フ意味デアリマス、唯御話
ノ財源ハ何處カラ出テ來ルカ、増稅力、公
債力、海軍省デ切り詰メルカ、各省デヤル
カト云フト、斯ウ云フコトハ一昨日濱口首
相モ茲デドウニカ方法ヲ執ルトシテモ、其
財源ハ今カラ増稅ニ依ルトカ、公債ニ依ル
トカ云フコトヲ御答ヘスルコトハ控ヘルト
斯ウ言ハレマシタ、是ハ私モ同様、ソレヲ
今カラ増稅デヤル積リデアルトスウ言ッ
所デ、誠ニソレハ責任ノアル答辯デハナイ
ト思フ、是ハ差控ヘタイト存ジマス

百臺載セル、サウシテ三十七「ノット」ヲ走
ル、所謂航空母艦兼六吋砲巡洋艦ト云フモ
ノヲ造ル、七千百噸ノモノヲ十艘造ルノハ
本年ハ否決ニナツヤウニ聞イテ居ル、ケレ
ドモ亞米利加ノ造船界ノ状態ハ、今マデニ
経費ノ決議ヲ受ケテ居ルモノガ昭和五年度、
向フデ言ヘバ千九百三十年度デアリマセウ
ガ、其造船ヲスル能力一杯ハ今マデ決議ヲ
受ケタモノノ経費ヲ持テ行クコトガ出来
ルカラ、此六吋巡洋艦ノ七千百噸ノ十艘、
所謂航空母艦ヲ兼ネタ船ト云フモノガ十艘
否決サレタカラト云ツテ、直ニ今年造船計畫
ハ止メテシマフト云フ程閑ニナツタノデハ
ナイ、是ハ次ノ機會ニ於テ矢張リ協贊ヲ得
ルト云フヤウナ風ニ我ミハ聞イテ居ルノデ
アリマス、今海軍大臣ノ仰シヤルヤウナ御
話モ、是モ甲カラ乙、乙カラ丙ニ皆否決ニ
サレタカラ、是ハヤラナイト云フヤウナ海
軍大臣ハ心配セラレヌ、ノンキ性カモ分ラ
ヌガ、此點ハ全部ヲ、ノンキニ考ヘテ居ツタ
ノデヤドウカト思フ

Digitized by srujanika@gmail.com

ラ今御話ノ巡洋艦ハ十艘デハアリマセヌ、一隻デアリマス、一万噸ノガ一艘、ソレカラ只ノ巡洋艦ガ七千噸級ノガ一艘、ソレカラ潛水艦ガ三艘、ソレカラ驅逐艦ガ十一隻隻ダケ通過ヲ致シマシテ、其以外ノ八吋砲ノハ前カラ造シテ居リマスカラ、無論豫算モアリ工業能力モソレデ續イテ行シテ居ルノデアルガ、今年新シク海軍カラ提出サレマシタ今申シマシタ案ハ兎ニ角モ此議會ハ通過シマセヌデシタト云フ意味デ、私ハソレガ爲ニ此後チットモ造ラナイ、サウ云フ意味デハナインデアリマシテ、此會デハアリマセヌデシクガ、何カノ委員會デ申上ゲタト存ジマスガ、亞米利加ノヤウナ所ハ一年一年デヤルノデアリマスカラ、是ハドウ云フ當局ガ出テ、サウシテ民心ノ希望カラ非常ナ老大ナル計畫ヲ一年ノ間ニ立テルカモノ分ラナイ、決シテ是ハ安心スルノドウノト云フ意味デハナインガ、一ツノ例トシテ外國ノ狀況等ヲ見テ、除ニ航空母艦ナラバ航空母艦ト云フモノハ後ヘ延バシテモ、延バス方ガ寧ロ適當デアルト云フ意味ノ説明ヲ申上ゲタ次第デアリマス、左様御了承ヲ願ヒマス

○森田福市君 専門家デアルカラ私ヨリハ

上手ニ御答辯ニナッタガ、此六吋砲ノ七千百噸ノ十艘ト云フコトハ新聞ノ方ガ嘘デ、アタノ仰シヤル方ガ事實カモ知ラヌガ、ソレカラバ航空巡洋艦トデモ言フカ、航空母艦ニモナリ巡洋艦ニモナル、アノ船ノ速力ガ三十七「ノット」デアルガ、日本ニハマダサウ云フ船ガナイヤウデアル、ココデ私ハスウ云フ風ナコトヲ屢々心配スル、豫算委員會デモ申上ゲタガ、眞面目ニ御聽キニナッタカドウカ存ジマセヌガ、アノ紐育ノ新聞ニ海軍大臣ガ顧問トシテ倫敦ニ行シテ留守ノ聞ノコトデアリマスガ、日本ノ前ノ駐米大使、今ノ大使ノ前ノ大使、是ガ三百万弗ノ居ル、彼此レ三百万弗モカケテ居ル、今ノ海軍大臣ガ専門家ダカラドウ御考ヘニハ出來ヌコトハナイト思フ、六吋砲ノ砲塔ヲ引抜イテ八吋砲塔ヲ持テ行シテ戰爭ノ時ニ据付ケルコトガ出來ルヤウニ考ヘラレルガ、海軍大臣ハ専門家ダカラドウ御考ヘニナルカ

○國務大臣(男爵安保清種君) 御答ヲ致シ方デヤ相當御調べニナッタラウガ、三百万弗ヲ以テ日本ノ輿論ヲ抑ヘテシマフト云フ計畫デヤシテ來タ、三百万弗マデ使ハズニ成功シタコトハ是ハ大變ナ成功デアルト云フコトガ紐育「タイムス」デアッタト私ハ記憶シテ居ルガ、去年ノ五月ノ何日カノ新聞デアリト云フモノハ後ヘ延バシテモ、延バス方ガト云フモノハ後ヘ延バシテモ、延バス方ガトカ何ヤラ班ト云フノガアルカラ見テ居ルト思フガ、ソレ等ニ付テハ、サウ迄シテ目次第デアリマス、左様御了承ヲ願ヒマス

クコトハ日本ヲ向フニシテ、假想敵國ニシテ居ルカラサウ云フ風ナコトニナッテ來ルノデヤナイカ、デアルカラ國防ノ心配ノナシタノ十艘ト云フコトハ新聞ノ方ガ嘘デ、アタノ仰シヤル方ガ事實カモ知ラヌガ、ソレカラバ航空巡洋艦トデモ言フカ、航空母艦ニモナリ巡洋艦ニモナル、アノ船ノ速力ガ三十七「ノット」デアルガ、日本ニハマダサウ云フ船ガナイヤウデアル、ココデ私ハスウ云フ風ナコトヲ屢々心配スル、豫算委員會デモ申上ゲタガ、眞面目ニ御聽キニナッタカドウカ存ジマセヌガ、アノ紐育ノ新聞ニ海軍大臣ガ顧問トシテ倫敦ニ行シテ留守ノ聞ノコトデアリマスガ、日本ノ前ノ駐米大使、今ノ大使ノ前ノ大使、是ガ三百万弗ノ居ル、彼此レ三百万弗モカケテ居ル、今ノ海軍大臣ガ専門家ダカラドウ御考ヘニハ出來ヌコトハナイト思フ、六吋砲ノ砲塔ヲ引抜イテ八吋砲塔ヲ持テ行シテ戰爭ノ時ニ据付ケルコトガ出來ルヤウニ考ヘラレルガ、海軍大臣ハ専門家ダカラドウ御考ヘニナルカ

○國務大臣(男爵安保清種君) 御答ヲ致シマスガ、其六吋ノ不斷積ンデアル軍艦ニ戰時ニ俄ニ八吋ニ積換ヘルト云フコトハ實際上ニ出來ナインデアリマシテ、是ハ初メカラ八吋ヲ積ムト言ヒマスレバ御承知ノ「ビルム」カラ、サウ云フ土臺カラ十分丈夫ニ八時ノ發砲ニ堪ヘルダケノ強味ヲ必要トスル、又八吋ノ彈薬ヲ入レルダケノ大キサノ弾藥庫ヲ必要トスルト云フ意味デアリマスカラ、是ハ非常ナ改造デアル、中ミサウ數箇月ノ中ニ六吋砲ノ巡洋艦ガ八吋巡洋艦ニ

クコトハ日本ヲ向フニシテ、假想敵國ニシテ居ルカラサウ云フ風ナコトニナッテ來ルノデヤナイカ、デアルカラ國防ノ心配ノナシタノ十艘ト云フコトハ新聞ノ方ガ嘘デ、アタノ仰シヤル方ガ事實カモ知ラヌガ、ソレカラバ航空巡洋艦トデモ言フカ、航空母艦ニモナリ巡洋艦ニモナル、アノ船ノ速力ガ三十七「ノット」デアルガ、日本ニハマダサウ云フ船ガナイヤウデアル、ココデ私ハスウ云フ風ナコトヲ屢々心配スル、豫算委員會デモ申上ゲタガ、眞面目ニ御聽キニナッタカドウカ存ジマセヌガ、アノ紐育ノ新聞ニ海軍大臣ガ顧問トシテ倫敦ニ行シテ留守ノ聞ノコトデアリマスガ、日本ノ前ノ駐米大使、今ノ大使ノ前ノ大使、是ガ三百万弗ノ居ル、彼此レ三百万弗モカケテ居ル、今ノ海軍大臣ガ専門家ダカラドウ御考ヘニハ出來ヌコトハナイト思フ、六吋砲ノ砲塔ヲ引抜イテ八吋砲塔ヲ持テ行シテ戰爭ノ時ニ据付ケルコトガ出來ルヤウニ考ヘラレルガ、海軍大臣ハ専門家ダカラドウ御考ヘニナルカ

○國務大臣(男爵安保清種君) ソレハ只今サウ云フ計畫ヲ有テ居リマセヌ、是ハ此間何カノ席デ井上男爵カラモ御尋ネニナリマシタガ、今日ハサウ云フ計畫ハ有テ居リマセヌ、今度ノ八千五百噸ノ巡洋艦ト云フモノハ速力砲力ト云フ所ニ重キヲ置イテサウ云フモノヲ逐拂フト云フコトニ有力ナシタコトハ是ハ大變ナ成功デアルト云フコトガ紐育「タイムス」デアッタト私ハ記憶シテ居ルガ、去年ノ五月ノ何日カノ新聞デアリト云フモノハ後ヘ延バシテモ、延バス方ガト云フモノハ後ヘ延バシテモ、延バス方ガトカ何ヤラ班ト云フノガアルカラ見テ居ルト思フガ、ソレ等ニ付テハ、サウ迄シテ目次第デアリマス、左様御了承ヲ願ヒマス

○森田福市君 速力ハドウデアリマスカ、

○國務大臣(男爵安保清種君) 速力ハマダ
發表ヲ差控ヘマス

○森田福市君 私ハ海軍大臣ハ宜シイ、大
藏大臣ニ御願ヒ致シマス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) チヨット御待
チ下サイ

○政府委員(青木得三君) 昨日森田サンカラ
御尋ガゴザイマシタ、廣島稅務署ニ於キ
マシテ稅務官吏ガ官金ヲ横領イタシマシタ
事件ニ付テ御尋ガゴザイマシタ、其取調ノ
結果ヲ極ク簡単ニ申上ゲマス、主トシテ御
尋ノ點ハ横領サレタル金額ノコトノ御話デ
アリマシタガ、取調ノ結果ニ依リマスト云
フト、納稅者ニ對シテ領收證書ヲ交付イタ
シテアリマスル金額ガ三千七百五十二圓八
錢ト云フコトニナラバ、ソレカラソ
シテ、合計イタシマシテ三千七百五十五圓
十八錢、其件數ハ六十一件デゴザイマス、
之ニ對シマシテハ昨日モ御話ガゴザイマシ
タガ、稅務官吏ガ領收證書ヲ發行シテ受取
リマシタ後ニ横領イタシマシタモノデゴザ
イマンテ、勿論納稅者ニ御迷惑ヲカケル筋
合デハゴザイマセヌ、是ハ國庫ノ損失或ハ
其官吏カラ辨償サセルコトニ相成ルノデゴ
ザイマス、尙ホ取調べマスト、領收證書ヲ

モダ納稅者カラ出シテ居リマセヌケレド
或ハ小切手振出ノ原簿デアリマストカ、或
ハ小切手ヲ支拂ヒマス銀行ノ出納簿等カラ
取調べテ見マスト云フト、此外ニモ尙ホ稅
料二十錢、合計七百五十八圓九十二錢、件
數ニ致シマシテ五件ト云フモノガゴザイマ
ス、是モ孰レ取調べマシタナラバ領收證書
ガ出テ參ルコトト存ジマス、若シ領收證書
ヲ出シテ受取タモノナラバ必ズ出ルコト
ト思ヒマスカラ、之ニ對シテモ領收證書ガ
出マシタ以上ハ勿論納稅者ノ御迷惑ニナル
ベキ筋合デハアリマセヌ、是ハ國庫ノ損失
或ハ官吏ニ辨償ヲ命ズルコトニ相成リマ
ス、此二ツ合計イタシマスト云フト四千五
百十四圓十錢、件數六十六件ト云フコトニ
相成ルテ居リマス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 御答ヲ致シマス
○政府委員(青木得三君) 御答ヲ致シマス
ガ、私ガ申上ゲマシタノハ、領收證書ガナ
ケレバ果シテ其人ガ御拂ヒニナッタカドウ
デアルカト云フコトガハツキリ致シマセヌ
ガ、若シ森田サンノ御話ニナルヤウニ、例
ヘバ領收證書ガナクテモ他ノ事情カラ其人
ガ拂ツタト云フコトガ明瞭デアリマスルナ
ラバ、勿論御迷惑ヲカケル筋デハゴザイマ
セヌ、唯領收證書ナシニ左様ナコトヲ斷定
スルコトガ非常ニ困難デアルト云フコトヲ
申上ゲタノデアリマス

○森田福市君 今ノ政府委員ニ御質問スル
ノデアリマスガ、最初ノ六十一件ハ能ク分
リマシタ、後ノ五件ガ若シ領收證書ガ出ナ
カタナラバ納稅者ハ拂ツテ居リテモ、是ハ金
ナルト思ヒマス、領收證書ガナクテモ明瞭ニ
ウ云フ御答ヲ致シマシタ所ガ長岡サンニ於
用ヒテ居ルカ分ラヌノデアリマス、分ラヌ
貴フト否トヲ問ハズ稅務官デアル人ニ渡シ
タガ、併シ今ノアナタノ御話ヲ聽クト、領
收證書ヲ發行シテ居ラナカッタナラバト云
シ金ハ官吏ガ取ツテ居ル、領收證書ハサウ云
フ意味ガ其裏ニ取レルノデアリマスガ、若
シ金ハ官吏ガ取ツテ居ル、領收證書ハサウ云
フ人物デアルカラ何トカカントカ旨イコト
ヲ言ツテ領收證書ヲ其人ニ交付セヌデ居ツタ
ト云フ場合ニハドウ云フコトニナリマス
○政府委員(青木得三君) 御答ヲ致シマス
ガ、私ガ申上ゲマシタノハ、領收證書ガナ
テ、茲ニ一人ノ人が自分ノ住ンデ居リマス
ノ七十條ト七十三條トノ關係デゴザイマシ
テ改メテ御答ヲ致シマス、ソレハ此地租法
ノ七十條ト七十三條トノ關係デゴザイマシ
テ、茲ニ一人ノ人が自分ノ住ンデ居リマス
ル村ニ百圓ノ田畠ヲ有ツテ居リマス、サウシ
テ隣ノ村ニ、一圓未満ノ畠ヲ有ツテ居タ場
合ニ地租ヲ取ラナイト云フコトハ、七十條
ヲ適用イタシマシテモ地租ヲ取ラヌコトニ
ナリマス、七十三條ヲ適用イタシマシテモ
地租ヲ取ラヌコトニナリマスガ、ドチラヲ
一體適用スル、其一圓未満ノ畠ヲ自分ノ住
ンデ居ル村ノ隣ノ村デ有ツテ居ルトキハ、ド
チラノ法文ヲ適用スルカト云フ御尋デゴザ
イマシテ、私ハ其節初メテ伺ヒマス御質問
デ慎重ニ考慮ヲセズニ當座ノ考ヲ申上ゲル
ト云フ前置、御斷リヲ致シマシテ七十三條
ニハ因ラナイデ七十條ニ因ルノデアル、斯

カレマシテハ若シ七十條ニ因ルト云フコト

デアレバ其隣村ニアル所ノ一圓未満ノ畠ニ

對シテ特別地稅ヲ取ラナケレバナラヌコト

ニナルデハナイカト云フヤウナ御質問ガ内

務省ノ政府委員ニ向テゴザイマシタノデ

アリマス、ソレデ私ハ更ニ答辯ヲ改メテ致

シマスト云フコトヲ御斷リヲ致シタノデゴ

ザイマスガ、昨日散會後、色ミ研究ヲ致シ

テ見マスト云フト、是ハ矢張リ其隣村ニア

リマス一圓未満ノ畠ニ對シテ地租ヲ取ラナ

イト云フコトハ第七十三條ノ適用ノ結果、

地租ヲ取ラナイト云フコトニ相成リマス、

即チ私ガ昨日申上ゲマシタ答辯ハ慎重ニ考

慮イタシマセヌデ間違タコトヲ申上ゲマ

シタカラ此際其答辯ヲ取消シマシテ、間違

ヒマシタコトヲ申上ゲマシタコトヲ御詫ヲ

致シマス次第ゴザイマス

○森田福市君 政府委員ノ御方デ宜イノデ

スガ、チョット簡単ニ……此收入ガ私等ハ御

承知ノ通リニ歲入ガ足ラヌト言ウタ

ラ、アナタ方ハ大丈夫チャノト、斯ウ仰

シヤッタノデアリマスガ、聞ク所ニ依ルト東

北ノ郡山ノ酒造家ガ破産ヲシテ、現在マダ

三十万圓程取レルノガアルト云フコトデア

リマスガ、果シテ左様ナ大キナ金額ガアル

○政府委員(青木得三君) 御答へ致シマス、私モツイ先刻ゴザイマシタカ、院内ニ於テサウ云フ噂ヲ聽キマシタノデゴザイマス、ソレデ早速取調ヲ命ジマシタカラ、シマスト云フコトヲ御断リヲ致シタノデゴザイマスガ、昨日散會後、色ミ研究ヲ致シ見マスト云フト、是ハ矢張リ其隣村ニアリマス一圓未満ノ畠ニ對シテ地租ヲ取ラナイト云フコトハ第七十三條ノ適用ノ結果、地租ヲ取ラナイト云フコトニ相成リマス、即チ私ガ昨日申上ゲマシタ答辯ハ慎重ニ考慮イタシマセヌデ間違タコトヲ申上ゲマシタカラ此際其答辯ヲ取消シマシテ、間違ヒマシタコトヲ申上ゲマシタコトヲ御詫ヲ致シマス次第ゴザイマス

○政府委員(青木得三君) 御答へ致シマス、前段ニ御答ヲ致シテ見タイト思ヒマスコトハ、大橋サンノ御考ニ依リマスト云フト、明治四十三年ニ宅地價ノ修正ヲシテ、サウシテ宅地ノ地價ハ非常ニ上ガッタノデアルケレドモ、併ナガラ地租ハ殖ヤサナカッタノデアルカラ、其當時ノ百分ノ二十ト云フモハ稅率ハ百分ノ二・五ニナックタニナリマスト云フト、此宅地ガ修正前ノ、七百六十三万二千圓ト云フモノガ、宅地價修正後、七百八十九万圓ニナッテ居リマシテ、殆ド相違ガゴザイマセヌカラ、市街サウナツテ居ルノデ百分ノ二十ト云フモノハ今日モ繼續シテ取ラレテ居ルト見テ差支ナインデナイカ、即チ一方ニ田畠ガ四十五圓ナラバ宅地ハ二百圓納メテ居ルト云フ計算ニナル、斯ウ云フ御尋ゴザイマシタ、ノ十一即チ百十圓ト云フ其計算ニ相成ル譯デアリマス、此點ヲ御答ヲ致シテ置キマス

○大橋新太郎君 ソレカラ其時ニ地價ヲ……市街宅地ノ地價ガ、前ノ百分ノ二十ノ後百分ノ二半ニシテモ、元ノ百分ノ二十ガ市街宅地ノ地價金額ハ幾ラデ、ソレカラ今度改正後百分ノ二半ニシテモ、元ノ百分ノ二十ガ市街宅地ノ地價金額ガ幾ラニナッテ居リマスカ、ソレモ合セテ郡村ト町ト兩方トモ御記入ノ上御配付願ヒタイ

○政府委員(青木得三君) 御答へ申上ゲマス、ソレハ只今茲ニゴザイマスカラ、アトデ刷リマシテ差上げマス、ソレカラ次ニ御答へ致シマスコトハ先程大橋サンガ御計算ニナリマシタ此度ノ地租ノ改正ニ依リマシテ……

○藤田四郎君 マダソレハ印刷ガ出來マセスカ

○政府委員(青木得三君) 其結論ダケヲチ

ウシテ調査ヲ致シテ見マシタ、左様イタシマスルト云フト、明治四十三年ニ地價ノ修正ヲ致シマシタ當時、市街宅地ノ地租ハ七百六十三万二千四百九十八圓ゴザイマシ

、正ヲ致シマシタ當時、市街宅地ト税率ヲ異ニシテ居リマシタカラ、其調ベガ只今カラハ

ト村トヲ分ケテ税率ヲ異ニシテ居リマセス、其當時市街宅地ト税率ヲ異ニシテ居リマセス、其當時市街宅地ト郡村宅地ト税率ヲ異ニシテ居リマシタカラ、其調ベガ只今カラハ

ト村トヲ分ケテ税率ヲ異ニシテ居リマセス、前段ニ御答ヲ致シテ見タイト思ヒマス

ス、前段ニ御答ヲ致シテ見タイト思ヒマス

ガ百分ノ八デ取ラレテ、少シデアリマスガ、少イ方ガ百分ノ二十デ取ラレテ居リマシタカラ、之ヲ兩方矣込ンデ平均イタシマスト

カラ、之ヲ兩方矣込ンデ平均イタシマスト

云フト百分ノ十一ト云フコトニナリマス、ソレデゴザイマスカラ市街宅地ダケヲ御取

リニナリマスト云フト、此宅地ガ修正前ノ、七百六十三万二千圓ト云フモノガ、宅

地價修正後、七百八十九万圓ニナッテ居リマシテ、殆ド相違ガゴザイマセヌカラ、市街

サウナツテ居ルノデ百分ノ二十ト云フモノハ今日モ繼續シテ取ラレテ居ルト見テ差支

ナインデナイカ、即チ一方ニ田畠ガ四十五

圓ナラバ宅地ハ二百圓納メテ居ルト云フ計

算ニナル、斯ウ云フ御尋ゴザイマシタ、ノ十一即チ百十圓ト云フ其計算ニ相成ル譯

デアリマス、此點ヲ御答ヲ致シテ置キマス

○大橋新太郎君 只今ノ仰セノハ書面ヲア

トデ頂戴イタシタウゴザイマス

○政府委員(青木得三君) 差上ゲルコトニ致シマス

ヨット申上、ゲサンテ戴キマス、大橋サンガ此度ノ地租ノ改正ニ依テ宅地ニ於テ殖エルモノガ幾ラ、田畠ニ於テ減ルモノガ幾ラト云フ詳細ナル御計算ヲナサイマシテ御質問デゴザイマシタガ、大體ニ於キマシテ、大橋サンノ仰セニナル通リデゴザイマス、計算上デハ少シバカリ違フ所モゴザイマスガ、唯茲ニ大キク申上、ゲテ置カナケレバナリマセヌコトハ、此平年度ニ於キマシテハ宅地租ハ五百四十五万圓殖エルト云フ計算ヲ差出シテ置キマシタガ、ソレニ對シマシテ、大橋サンハ尙ホ此郡部ノ町ノ宅地ノ増額ガ九十五万圓アルカラ是モ加ヘナケレバナラナイト云フ御考デゴザイマシテ、其結果三千八十四万圓ト云フ結論ニ達シテ御出デニナリマスガ、此九十五万圓ト云フモノハ私共ガ差上ゲマシタ五百四十五万圓ノ中ニ既ニ含マレテ居ル數字デゴザイマスカラ、此九十五万圓ダケヘ引イテ戴カナケレバナラヌト思ヒマス

○大橋新太郎君 ソレハ私モアトデ心付キ
マシタケレド莫斯ウ云フ計算ニナリマセヌカ、稅第六號ノ書類ニ依テ見ルト云フト、六百四十五万圓ト云フモノガ最後ニ出テ居リマスガ、是ハ只今御話ニナリマシタ一切ノ増減ヲ差引キマシテ五百四十五万圓ト云フコトニ相成ルノデアリマスカラ、郡部ノ町ニ於テ殖エマスモノモ此中ニ總テ計算ヲシテ、一切ノ差引ガ五百四十五万圓デゴザイマスカラ、ドウシテモ此五百四十五万圓ガ最後ノ數字デゴザイマス

○大橋新太郎君 農村ト町トノ負擔ノアレヲ見タインデアリマスカラ、ドウカ其意味ニ於テ御調べ下サイマシテ地價ノ關係ヲ明カニ願ヒタイ、郡村トシテ郡部ニ交ゼナイデ、宅地モ村ニアルモノハ村ニシ、町ニアルノハ町ニシテ分ケテヤルトカ、ソレヲ御答へ願ヒタイ

○政府委員(青木得三君) 御答ヲ致シマス

マスカラ、宅地全體ヲ取テ御考ガゴザイマスカラ、植エルモノハ植エルモノ、減ルモノハ減ルモノ、別々ノ計算ハ致シテ居ラスノデアリマス

十何万圓トカ屢々仰シヤッタヤウデスガ、此稅第六號ノ書類ニ依テ見ルト云フト、六百四十九万圓、是ダケノモノガ即チ増ニナルヤニ思ハレルノデアリマス、郡部ノ方ノ五十五万八千圓ノ減ルモノハ、是ハ減稅ノ問題……是ハ自ラ別ナ問題デアリマス、是ハトニ相成ルノデアリマスカラ、郡部ノ町ニ於テ殖エマスモノモ此中ニ總テ計算ヲシテ、一切ノ差引ガ五百四十五万圓ト云フコトニ相成ルノデアリマスカラ、郡部ノ町ニ於テ殖エマスモノモ此中ニ總テ計算ヲシテ、一切ノ差引ガ五百四十五万圓デゴザイマスカラ、ドウシテモ此五百四十五万圓ガ最後ノ數字デゴザイマス

○森田福市君 今朝大橋サンノ仰シヤッタノ方ニ計算シテ見テ、減ノ方ハ減ノ方デ計算スル方ガ宜イノデハナイカ、斯様ニ我ニハ考ヘテ居リマスガ、其點ハ如何ガデアリマス

○政府委員(青木得三君) 御答ヲ致シマス

ス、若シ森田サンノ御考ガ市部ニ於ケル増ト云フ御考デアリマスレバ、此第六號表ニゴザイマス所ノ四百六十二万圓ト其他ノ市部ニ於ケル百三十九万圓ト合計イタシマシタモノガ市部ニ於ケル増デゴザイマス、併ナガラ市部ト云ハズニ日本ノ全體ノ宅地ニ於テ幾ラ増ガアルカト云フト五百四十五万二千六百二十三圓デゴザイマス、又森田サンノ御考ガ植エルモノハ植エルモノトシ減ルモノハ減ルモノトシテ、別ニ計算スレバ

バ幾ラニナルカト云フ御話デゴザイマスレバ、ソレハ東京市ニ於テ百八十万圓増スト申シテ居リマシテモ、東京市内ニ一地一筆ヲ取りマシタナラバ、ソレハ減ルモノモゴザイマセウ、併ナガラ減ルモノト植エルモノトヲ差引キマシテ百八十万圓デアルトカ百五十万圓デアルトカ申シテ居ルノデアリマスカラ、植エルモノハ植エルモノ、減ルモノハ減ルモノ、別々ノ計算ハ致シテ居ラスノデアリマス

○森田福市君 チヨット今ノ數字ガ我ミガ持テ居ルノト達フノデアリマス、五百四十五万八千圓減ルトアリマスナ、是ガ内譯ヲ此間承^タ所ガ、郡部ハ百五十万九千圓減ル、市街宅地、町ハ九十五万圓殖エル

○政府委員(青木得三君) モウ一點私ハ昨

<p>日御答辯ヲ留保イタシマシタ點ガゴサaim スカラ御答ヲサシテ戴キタイト思ヒマス、 ソレハ此墳墓地ニ對シマシテ受益者負擔金 ヲ取ルコトガ出來ルカト云フ問題デゴザイ マシテ、先ヅソノ前提トシテ受益者負擔金ト 云フモノハ國ノ公課デアルト認メルカト云 フ御質問ガアリマシタ、之ニ對シマシテ他 ノ政府委員ヨリソレハ國ノ公課デアルト認 メルト云フ御答ガゴザイマシタ、然ル所第 二段ノ御質問トシテ國ノ公課ト認メルト云 フコトデアレバ、地租條例ノ規定ノ上ニ於 テ何等差支ガナイデアラウカドウカ、大藏 省ノ政府委員ハ如何ニ考ヘルカ、斯ウ云フ 御質問デゴザイマシテ、地租法ノ第八十九條 即チ地租法第八十九條ニ「府縣市町村其他 ノ公共團體ハ第二條ノ規定ニ依リ地租ヲ課 セザル土地ニ租税其他ノ公課ヲ課スルコト ヲ得ズ」ト書イテアリマスガ、此「第二條ノ 規定ニ依リ地租ヲ課セザル土地」ノ中ニ墳 墓地ガ入シテ居ルノデゴザイマス、併シ前段 申上ゲマシタヤウニ、他ノ政府委員ガ御答 ヘ致シマシタヤウニ、墳墓地ニ對スル受益 者負擔金ノ問題ハ、受益者負擔金ガ國ノ公 課デアルト云フコトニナリマスレバ、何等 地租法第八十九條ノ規定ニハ矛盾撞著ヲ致</p>	<p>シマセヌ、サウシテ墳墓地其他受益者負擔 金ト云フモノガ國ノ公課デアルト云フコト ニ付キマシテハ内務省ノ政府委員ト全ク同 ジ考ヲ持テ居ル次第デゴザイマス ○森田福市君 今ノ答辯ハ長岡サンノ質問 ニ對スル答辯ノヤウニ思フガ、長岡サンガ 居ラレナイノニ……マアソレハソレデ宜シ イ、私ハ斯ウ云フコトヲ一ツ伺ヒタイ、今 ノコトハ調べテ答辯スルト仰シヤルカラソ レデモ宜シイガ、今ノ約四十万圓ノ酒造稅 ニ對スル競賣ヲシテ三十万圓程不足スルト 云フコトデアルガ、一體下ウ云フ風ナ取扱 ヲナサシテ居ルノデアルカ、關西デハ我ミノ 方デハ「ビール」ニシテモ酒ニシテモ其稅金 ガ納マッテシマハヌ間ハ賣ラセナイヤウニ シテ居ル、何ト言フテ宜イカ、要スルニ酒倉ノ 中ニ入レテ置イテ稅金ガ納マッテカラデナ ケレバ其酒倉カラ出セナイヤウニシテ、 酒デモ「ビール」デモ見返リノヤウニナッテ 居ルノデアリマス、然ルニ今ノヤウニ酒ヲ タモノヲ翌月ニ取ルト云フコトニナッテ居 ルノデアリマス、然ルニ清酒ノ方……只今 トデアルト存ジマスガ、此方ハ大分遅レテ 取ルコトニナッテ居リマス、ソレハ酒造稅法 ノ第六條デゴザイマシテ、第一期ハ七月十 六日カラ三十一日迄デアリマスガ、ソレハ 前年ノ十月一日カラ其年ノ四月三十日迄ニ 査定イタシマシタモノノ四分ノ一ノ稅ヲ七 月十六日カラ三十一日迄ニ取ルト云フ風ニ カ、ドチラカニナルヤウニ思ヒマスガ、先</p>
<p>程ハソコ迄申上ゲルコトハ差控ヘタノデア リマスガ、監督局ニ依テ取扱ガ違フモノト 見テ宜シイノデアリマスカ ○政府委員(青木得三君) 御答ヲ致シマ ジ考ヲ持テ居ル次第デゴザイマス ○森田福市君 日本酒ト「ビール」トハ違フ ノ規定ガ違テ居ルノデゴザイマス、ソレデ ノ規定ガ違テ居ルノデゴザイマスカラシテ、 ソラスルト後今後ハコトデゴザイマスガ、サウスルト云 森田サンノ御質問ニナリマシタヤウナ御疑 問ガ御出来ニナッタコトト思ヒマス、「ビー ル」ノ方ハ麥酒稅法第四條ニ依リマシテ「麥 酒稅ハ毎月中ノ查定石數ニ依リ翌月中ニ於 テ一時ニ之ヲ納ムヘシ」とゴザイマス、森田 サンノ御話ノヤウニ稅ヲ納メナケレバ倉カ ラ出サセナイト云フコトハ如何カト存ジマ スガ、麥酒稅ノ方ハ清酒ノ方ト違ヒマシテ 翌月ニ之ヲ取ル、毎月々々査定イタシマシ タモノヲ翌月ニ取ルト云フコトニナッテ居 ルノデアリマス、然ルニ清酒ノ方……只今 トデアルト存ジマスガ、此方ハ大分遅レテ 取ルコトニナッテ居リマス、ソレハ酒造稅法 ノ第六條デゴザイマシテ、第一期ハ七月十 六日カラ三十一日迄デアリマスガ、ソレハ 前年ノ十月一日カラ其年ノ四月三十日迄ニ 査定イタシマシタモノノ四分ノ一ノ稅ヲ七 月十六日カラ三十一日迄ニ取ルト云フ風ニ カ、ドチラカニナルヤウニ思ヒマスガ、先</p>	<p>能ク御讀ミ下サレバ自然御了解下サルコト リマスガ、監督局ニ依テ取扱ガ違フモノト 見テ宜シイノデアリマスカ ○森田福市君 日本酒ト「ビール」トハ違フ カラシテ、サウ云フコトハ已ムヲ得ヌト云 フコトデゴザイマスガ、サウスルト云 チヨイ／＼滯納シテモ差支ヘナイノデアリ マスカ ○政府委員(青木得三君) 御答ヘ致シマ ス、之ニ對シマシテハ納稅保證ト云フモノ ヲ取シテ居リマシテ、不動產或ハ有價證券ヲ 保證ニ取シテ居リマス、其外ニ保證物ガ十分 デナイ時ニハ保證人モ立テサシテゴザイマ ス、ソレデアリマスカラシテ酒造稅ノ缺損 ヲ生ズルト云フコトハ絶對ニナイトハ申シ マセヌガ、極メテ少イコトト思ヒマス ○大橋新太郎君 午前自分ガ質問シマシタ ガ、今度賃貸價格ヲ基礎トシテ地價ヲ御決 メニナル以上ハ市町村ノ宅地ハ其地主ガ借 地人ニ貸シテ居ル、其貸料ニ公租ヲ加ヘタ モノガ、今度ノ地價トナル以上ハ地主ト借 地代ヲ幾ラニ決メヤウガ漠然トシテ居リマ スガ、今度ハ國ガ認メテ此地面ハ一坪幾ラ ノ賃貸價格ト決メル以上ハ、國家ガ認メタ</p>

一ツノ是ダケニ貸シテモ宜イト云フ標準ガ
出來テ居ル譯デス、其國家ガ認メタ貸貸價
格ニ依テ地主ガ借地人ニ請求スル場合ニ
於キマシテモ米ノ相場ハ御承知ノ通り年々
上リ下リスルケレドモ五箇年ノ平均ヲ見テ
小作人ガ地主ニ納メルノヲ金デ御決メニ
ナッタ、是ハ日本ノ習慣ヲ金デ……法律ガ
田畠ノ方ヲ金デ御決メニナリマシテモ、長
イ二千年來ノ歴史ノアルコトデ、小作人ハ
一反歩ニ付テ米ヲ何依納メルト云フ習慣ガ
アル、其習慣ヲ法律デ改正スルコトハ出來
マセヌカラ、其邊ニ付テ地主ト小作人トノ
一箇年ノ……小作ニ對スル一反歩ノ、田ハ
幾ラ畠ハ幾ラト云フコトニ賃貸價格ハ決
マッテ居ル、其國ガ決メタ所ノ金額ヲ小作人
カラ地主ガ取り得ルト云フノデアルカ、又
米ノ相場ノ上リ下リハドウナサル御考デア
リマスカ、米納デアリマスカラ稅ハ……賃
貸價格ハ金デ規定シ、日本ハ米デ取ル習慣
ニナッテ居ル、其關係ヲドウナサル御考デ
アリマスカ

租ガ直接稅デアルト云フコトハ何人モ疑ハ
ナイ所デアリマス、直接稅ト申スノハ勿論
御承知ノコトデアリマスガ、其稅金ヲ納メ
ル人自ラ之ヲ負擔スルモノヲ直接稅ト申
シ、間接稅ノ方ハ稅金ヲ納メル人ガ其稅ヲ
負擔シナイデ消費者ニ轉嫁スルカラ間接稅
ト申スノデアリマスガ、實際經濟界ノ情勢
ニ依ツテ直接稅ガ或ル場合ニ於テ間接稅ニ
轉嫁シ、又間接稅ガ直接稅ニ轉嫁スルコト
ハゴザイマス、ケレドモ立法者ノ意思ト申
シマスカ大藏省ノ意思ハ、地租ノ如キ直接
稅ト云フモノハ是ハ轉嫁シナイコトヲ希望
シテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカ

シ一定ノ期間地代又ハ借賃ヲ増加セサルヘキ特約アルトキハ其ノ定ニ從フト云フ規定ガゴザイマス、借家法ノ第七條ニ於テモ同様ノ規定ガゴザイマス、是ハ司法省ノ所管ノコトデスカラ私ガ斯様ナコトニ付テ其解釋ヲ御答辯スルコトハ僭越ダト思ヒマスガ、併シ私ノ考ヘル所デハ、ソレハ地價ガ賃貸價格ニ改マルトカ改マラヌトカ云フコトニ拘ラズ、租稅其他ノ公課ノ増減ニ依テ不相當ニナッタ時ニハ借賃又ハ地代ノ増減ヲ請求スルト云フコトガ出來ルト云フコトハ借地法借家法ノ規定ニ依テ明瞭デアル

○政府委員(青木得三君) 私ガ御答ヲ致シ
マスノハ、此地租ト云フモノハ地主ニ課ス
ルト云フコトガ主ナル目的デゴザイマス、借
家人ヤ借地人ニ地租ヲ課サウト云フ考ハ政
府ニハゴザイマセヌ、其コトヲ私ガ申上ゲ
テ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ
地租ハ土地ノ所有者ニ課スルト云フコト
ハ、是ハ法文ニモ明文ヲ以テ書イテ居ル次
第デゴザイマス、ソレデアリマスカラ其地
主ノ方ガ其地租ヲ借地人ニ轉嫁スルコトガ
宜イカ悪イカト云フヤウナ御尋……

ラ我ミハ之ヲ直接稅ト申シテ居リマス、砂糖消費稅ノ如キハ砂糖會社ガ納メマスケレドモ、消費稅デアリマスカラ消費者ニ轉嫁スルコトヲ希望シテ居ルノデアリマス、大藏省ノ意見ハサウデアリマスガ、實際下ウナルカト云フコトノ御尋デアリマスレバ、是モ能ク御承知ノコトデアリマスガ、借地法ノ第十二條ニ「地代又ハ借賃カ土地ニ對スル租稅其ノ他ノ公課ノ增減若ハ土地ノ價格ノ昂低ニ因リ又ハ比隣ノ土地ノ地代若ハ借賃ニ比較シテ不相當ナルニ至リタルトキハ契約ノ條件ニ拘ラス當事者ハ將來ニ向テ地代又ハ借賃ノ増減ヲ請求スルコトヲ得但

○大橋新太郎君 大藏省ハ從來ノ習慣ヲ
破ッテ今度土地ヲ賃貸價格ニナサル、從來ハ
地價デアリマスカラ、借地人カラ云ヘバ地
價ガ幾ラデアラウガ、市街宅地デアレバ坪
何錢デ借リテ居ル、今度ハ國ガ此土地ハ幾
ラト云フ賃貸價格ノアルモノトシテ稅ヲ御
取リニナル時ハ、地主ハ國家ガ決メタ賃貸
價格ヲ標準トシテ請求シテ宜イカ惡イカト
云フコトヲ御尋スルノデアリマス、大藏省
ガ之ヲ御決メニナッテ取リナガラ、其稅ガ納
稅者ナリニ及ボス結果等ニ付テハ自分ノ所
管外ノコトノヤウナ御返事ガアルト云フコ
トハ甚ダ私ハ當ヲ得ナイト思ヒマス

分リニナラヌカラサウ云フ冷淡ナ御答辯ニナルノデス、今度ノ賃貸價格ニ御決メニナル以上ハ、今迄ト違テ、今迄ハ地價何圓ト云フ、而モ維新ノ初メニ決マッタ安イ地價デアリマスカラ、又其後四十三年ニ御決メニナッテモ、市街宅地ハ制限ガアッテ、決メタ地價ハ極メテ安イカラ問題デハアリマセヌガ、今度ハ地主ガ小作人カラ取ル借地料ヲ目的トシテ此賃貸價格ヲ御決メニナッタ、所ガ現實ニハ地主ガ借地人カラ取テ居ル貸賃ヲ標準トシテ御決メナサルノデハナイノデスカ、ソレハ「土地賃貸價格調査ノ要領」ヲ御覽下サレバ分ル、之ニ明瞭ニ書イテアル

○政府委員(青木得三君) 若シ大藏省ノ意見ヲ御聽キニナリマスナラバ、之ハ申上ゲル迄モナイコトデアリマスガ、租稅ニハ直接稅ト間接稅ト云フモノガアリマシテ、地

格ノ昂低ニ因リ又ハ比隣ノ土地ノ地代若ハ
借賃ニ比較シテ不相當ナルニ至リタルトキ
ハ契約ノ條件ニ拘ラス當事者ハ將來ニ向テ
地代又ハ借賃ノ増減ヲ請求スルコトヲ得但

ガ之ヲ御決メニナツテ取りナガラ、其稅ガ納
稅者ナリニ及ボス結果等ニ付テハ自分ノ所
管外ノコトノヤウナ御返事ガアルト云フコ
トハ甚ダ私ハ當ヲ得ナイト思ヒマス

ガ現實ニハ地主ガ借地人カラ取テ居
賃ヲ標準トシテ御決メナサルノデハナイノ
デスカ、ソレハ「土地賃貸價格調査ノ要領」ヲ
御覽下サレバ分ル、之ニ明瞭ニ書イテアル

第四部第十五類 地租法案特別委員會議事速記錄第十一號

昭和六年三月二十三日

第十、區域主義ノ調査ニ、「今回ノ賃貸價格調査ハ土地賃貸價格調査法ニ規定セラルカ如ク一般的ニ土地ノ各筆毎ニ之ヲ爲サス地目毎ニ情況類似スル土地ヲ一區域トシテ其ノ區域内ニ於ケル標準賃貸價格ヲ調査シタルモノナリ、故ニ各筆毎ノ賃貸價格ヲ定ムル場合ハ此ノ標準賃貸價格ヲ決定セラレタル後稅務署ニ於テ各筆ノ面積ニ應シ算出スルモノトス」ト書イテアル、斯ウ云フ標準デ賃貸價格ヲ御決メナサルコトハ實際問題トシテ出來ナイコトハ分^フテ居ル、之ガ從來ノ實際ノ習慣ト非常ナ相違ガアル、同ジ町内ノ土地ガ、持主ニ依^フテ一坪二十錢ニ貸シテ居ルモノモアレバ一坪一圓ニ貸シテ居ルモノモアル、同ジ丸ノ内ノ三菱ノ土地デモ其通り、非常ナ高イノト安イノガアル、所ガ稅務署ガ之ヲ決メル時ニハ、或ル地面ヲ限^フテ、裏地ナラバドウ角地ナラバドウト御決メナサル、從來ノ習慣ヲ丸デ破^フタ所ノ新しい賃貸價格ガ出來ルノデアリマス、サウスルト今度稅ヲ取ラレル所ノ賃貸價格ノ金額迄ハ地主ハ借地人ニ要求シテモ宜イノカ惡イノカト云フノガ問題デアリマス、分リマシタカ

○政府委員(青木得三君) 分リマシタ、分リマシタケレドモ、御答ハ、私共ガ賃貸價格有者カラ取ル標準トシテ賃貸價格ヲ調査シヤウニ或ル特殊ナル方ハ安イ地代ヲ取^フテ御イデニナリマセウ、又或ル特殊ナル方ハ高イ地代ヲ取^フテ御イデニナル方モアリマセウ、大藏省ガ賃貸價格ヲ取調べマシタノハ、地主ト借地人トノ間ニ於テハ如何ナル便利ダケ^フ圖^フテ借地人ト地主ノ間ニハ年々歲々問題ガ起ル、ソレデ地主ノ間ニ紛証人ニ轉嫁スレバ、地主ト借地人トノ間ニハ高イ地代ヲ取^フテ御イデニナリマセウ、又或ル特殊ナル方モアリマセウ、大藏省ハサウ云フコトハ少ガ起ルト云フコトハ、今日ノ此經濟界ノ事態ガ惡イノニ、大藏省ハサウ云フコトハ少シモ考慮ナサラヌノデアリマスカ

○大橋新太郎君 此問題ハ、此法律ガ行ハレマスレバ直ニ東京全市ノ借地人ト地主トノ間ニ問題ガ起ル、同時ニ田舎ナラバ矢張ノ間ニ問題ガアリマシテモ、私トシテハ御答ナ御質問ガアリマシテモ、私トシテハ御答格マデ地代ヲ取^フテモ宜シイカト云フヤウナコトヲ目的トシテ取調べタノデハゴザイマセヌ、ソレデゴザイマスカラ御質問ガゴザイマシテモ、今度政府ノ取調べタ賃貸價格マスガ、明治四十三年ノ時モ賃貸價格ヲ調査イタシマシテ、賃貸價格ノ十倍ヲ以テ宅地價ト致シマシタコトハ毎度申上ゲテ居リマス、所ガ其明治四十三年ニ取調べマシタマセウカ、マダ御質問モアリマセウガ、兩大臣モ見エマスカラ、暫時休憩シテ、又續行シタラドウデスカ

○長岡隆一郎君 豫算三分科會ガマダ開ケナイデ待^フテ居リマスカラ、今日ハ御散會ヲ行シタラドウデスカ

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 皆サンガサウ云フ御考ナラ散會イタシマス

〔「散會ニ贊成」ト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵柳澤保惠君) ソレデハ散會イタシマス、明日ハ午前十時カラ開キマスノヤウニ市街宅地ダケ^フモ年々増稅ヲシ、而モ附加稅ガ年々急ニ變ハルノデスカラ、ガ自分ノ稅ヲ取ル都合ノミヲ考ヘテ、地主ト借地人トノ紛争ハ我關セズト云フヤウニ御考ヘニナルコトハ餘リ政治家トシテ無責任ノコトト思ヒマス、是ハ今主稅局長ト議論シタ所デ、サウ云フ御考デアレバ、自分ハ自分ノ考ヘル所ニ依^フテ判断スルヨリ仕方ガナイノデ、此上答辯ヲ追究イタシマセヌ

出席者左ノ如シ

委員長	伯爵柳澤	保惠君	田中一馬君
副委員長	男爵阪谷	芳郎君	森田福市君
委員	公爵一條	實孝君	小林暢君
	侯爵細川	護立君	大藏大臣
	子爵梅小路定行	君	内務大臣
	子爵大久保	立君	安達謙藏君
	子爵大河内輝耕	君	海軍大臣
	子爵裏松	友光君	男爵安保
	水野鍊太郎君		清種君
	伊澤多喜	男君	
	男爵黒田	長和君	
	男爵井上	清純君	
	片岡	直溫君	
	藤田	四郎君	
	湯地	幸平君	
	馬場	瑛一君	
	後藤	文夫君	
	木村	清四郎君	
	大橋	新太郎君	
	尾崎	元次郎君	
	森	平兵衛君	
	濱口	儀兵衛君	

國務大臣	井上準之助君	田中一馬君
大藏大臣	大藏大臣	森田福市君
内務大臣	内務大臣	小林暢君
海軍大臣	海軍大臣	
男爵安保	男爵安保	
清種君	清種君	
政府委員		
内務省地方局長	次田大三郎君	
内務書記官	岡田周造君	
同	鈴木敬一君	
大藏省主税局長	青木得三君	
大藏書記官	野津高次郎君	

昭和六年四月七日印刷

昭和六年四月八日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局